



IEEE 東京支部 60 周年

—この 10 年の歩み—

Sixty Years of IEEE Tokyo Section

2016 年 8 月 1 日

IEEE 東京支部 History Committee

IEEE 東京支部 60周年

—この10年の歩み—

目次

[I]	沿革	
1.	概要	1
2.	50年の歩み(抄録)	2
3.	この10年の歩み(2005-2015) —活動の拡大と充実—	3
[II]	この10年の主要活動	
1.	東京支部総会・理事会	4
2.	広報活動(Tokyo Bulletin)	6
3.	東京支部主催講演会	8
4.	その他のイベント	14
[III]	各種データ(東京支部および全国)	
1.	東京支部の役員・理事	17
2.	会員の状況	20
3.	Chapter 一覧	22
4.	Student Branch 一覧	24
5.	新 Fellows	25
6.	IEEE Medal/Award 受賞者	35
7.	IEEE Milestone 認定一覧	38
補遺		
1.	IEEE Technical Tour of Japan	39
2.	IEEE Metro Area Workshop in Tokyo, 2015	40

この冊子は2006年に発刊された「IEEE 東京支部 50年の歩み」に続く10年間のIEEE 東京支部の活動をまとめたものです。「50年の歩み」には東京支部と全国各支部の活動が記録されました。今回の「この10年の歩み」では原則として東京支部の2015年末までの活動について記載しています。

本文中アンダーラインの箇所はハイパーリンクとなっています。詳細な情報はネット経由でご覧下さい。時間とともにリンク切れとなることもありますが、その場合はIEEE 東京支部のホームページなどで最新の情報を入手してください。

IEEE Tokyo Section History Committee

IEEE 東京支部 60周年

[I] 沿革

1. 概要

IEEE 東京支部 (IEEE Tokyo Section) は 1955 年暮 IRE 東京支部として創立され、1963 年に IRE と AIEE が合併して IEEE が発足したことに伴い IEEE 東京支部と改称したものである。会員数は創立当初の 50 名から順調に増加し、1969 年には 1,106 名、1998 年には 10,010 名を数えるに至っている。2015 年には日本全国で 14,326 名になっている。

1998 年には、会員数の増加に伴い、各地の状況に合わせたきめ細かな会員へのサービス提供と、わが国における IEEE 活動の一層の活性化を目指して、札幌、仙台、名古屋、関西、広島、福岡、四国の 7 つの新支部が設立された。2006 年には信越支部が設立され日本全国で 9 支部の体制となり、東京支部は関東地方を活動領域とすることとなった。支部新設に伴い 1999 年には支部活動の連携や支援を図るため Japan Council が設立されている。

Chapter 活動については、創立後間もない 1958 年に MTT (Microwave Theory and Techniques) Tokyo Chapter が設立されたのを皮切りに、2005 年までに全国で 45 の Chapter が設立され、2015 年には 68 の Chapter がそれぞれの専門分野において国際交流を含む活発な活動を展開している。なお、2013 年から Chapter の Section 傘下への移行が進めており現在手続きが進行中である。

	主要事象	全国会員数	支部会員数
1955(S30)	IRE 東京支部創立(12月)	50名	同左
1956(S31)	第1回理事会開催(2月6日)	72名	同左
1958(S33)	MTT Tokyo Chapter 設立	222名	同左
1959(S34)	でんし Tokyo 創刊	252名	同左
1963(S38)	IEEE 東京支部に改称	573名	同左
1969(S44)	会員 1,000 人を超える	1,106名	同左
1975(S50)	幹事会社輪番制開始	1,915名	同左
1996(H8)	Section Assessment 導入	9,186名	同左
1997(H9)	独立事務所開設	9,454名	同左
1998(H10)	全国 8 支部体制発足	(10,010名)	6,527名
1999(H11)	Japan Council 設立	(10,375名)	6,693名
2000(H12)	Tokyo Bulletin No.1 発行	(10,867名)	6,961名
2003(H15)	Boston Section と姉妹関係締結	(11,853名)	7,318名
2005(H17)	IEEE 東京支部創立 50 周年	(12,703名)	7,708名
2006(H18)	信越支部設立(全国 9 支部)	(12,960名)	7,580名
2008(H20)	GOLD Affinity Group 設立	(13,346名)	7,630名
2010(H22)	Life Members Affinity Group 設立	(13,770名)	7,865名
2013(H25)	GOLD が Young Professionals に名称変更 Chapter の支部傘下への移行(開始)	(14,384名)	7,911名
2014(H26)	History Committee 設立	(14,231名)	7,849名

東京支部の運営についても、1975 年から幹事会社輪番制が実施されて順調な発展を続けてきた。さらに、関係者の努力により 1996 年からは支部運営費として Section Assessment が導入され、財政基盤がより強固なものとなった。

支部委員会などは、8 つの Standing Committee、2 つの Affinity Group、11 校の Student Branch と拡充されこれらが中心となり活発な支部活動を行っている。

2. 50 年の歩み(抄録)

・組織の基盤構築(1955-1974)

1955 年に IRE Tokyo Section が創立された。1963 年には IRE と AIEE が合併して IEEE となり、本会名称も IEEE Tokyo Section となった。1958 年に最初の Chapter として MTT、続いて 1964 年には PE、1967 年には C、1970 年には EMB、など Chapter が設立された。Society Conference での英文論文発表の奨励や、国内学会との共同研究会など、活発な活動を推進し組織の活性化に貢献した。

1959 年に会員への情報提供とわが国の最新技術を海外にも紹介する目的で英文雑誌「でんし Tokyo」創刊され、1994 年の第 33 号まで発刊された。

1975 年で会員 1,915 名に増加した。

・活動基盤の確立(1975-1997)

引き続き会員の順調な増加と国内外の諸活動の多彩化が進んだ。Chapter についても新設が続いた。これらの Chapter 設立と並行して、それぞれの専門分野での Society との交流が一層活発化し、海外で開かれた IEEE の技術会合に参加し発表する日本人会員が増加した。また、IEEE 本部、Region 10、各 Society などの組織の役員として活躍する会員も増え、国際的地位の向上に貢献した。

これら諸活動の拡大に対応したスムーズな支部運営を行うために、1975 年より東芝、日立、富士通、三菱、日本電気、日本電信電話、国際電電(現在 KDDI)、住友電工の 8 社が中心となって 2 年毎の輪番制で幹事会社を引き受ける体制が実施された。

1990 年代に入り、自立した財政基盤の確立が課題となり支部運営のための特別会費として Section Assessment (25ドル) を会員から徴収することが 1996 年から導入された。その成果として 1997 年初から懸案であった独立事務所が開設され、さらにインターネット関連システムを中心とした設備投資も行われて、各種の会員サービスも強化・充実された。

また、国内学会との連携も進められ、会員の相互援助を目的とした Mutual Agreement が、9 つの国内関連学会と締結され現在に至っている。

・地域支部体制への移行(1998-2005)

設立 40 年後の 1996 年には会員数 1 万人に迫り、世界の IEEE の中でも上位から数番目の大きな Section となった。このため支部の分割が課題となり、1998 年には札幌(北海道)、仙台(東北)、名古屋(東海・北陸)、関西(関西)、広島(中国)、四国(四国)、福岡(九州・沖縄)の 7 支部を新設し、東京支部は関東・甲信越地区を担当することとなった。その後、2006 年には信越支部が発足し日本全国で 9 支部の体制となった。

地域支部体制への移行に伴い、1999 年に日本全体としての問題を扱う組織として Japan Council が発足し各支部(Section)活動の支援をしている。

またこの移行は、地域活動の主体である Section と専門技術分野の活動を司る Society の交点である Chapter にも大きな影響を与えた。本来 Chapter はそれぞれの支部に置か

れるべきであるが、経過的措置として、従来の Tokyo Chapter を Japan Council の所属に移し Japan Chapter とする措置が採られた。順次新しい Section Chapter を設立することが勧められ、2005 年には各支部に 9 の Chapter、Japan Council に 36 となった。

東京支部では会員への情報提供と情報交換の場として、メール配信による "IEEE Tokyo Bulletin" (日本語および英語) の発行が 2000 年5月からスタートし、年に 5、6 回の発行を重ねている。

3. この 10 年の歩み (2005-2015) -活動の拡大と充実-

支部活動は、支部総会(年 1 回)、理事会(構成:役員、委員会 Chair、他、開催:年 4 回)、常設委員会の活動(Chapter 活動支援、Fellow 推薦支援、会員の増強、各種講演会の開催、会員への情報提供、学生活動の支援、マイルストーン認定の推進)、Affinity Group (Life Member、Young Professionals)、支部間交流(ボストン、ソウル)、IEEE 本部及び R10 との連携、Industry Promotion 活動など、が行われている。(年度毎の詳細はこの 10 年の主要活動として後に掲載)

この間のトピックス的な動向を次に記す。会員数は横這いで推移しており、高グレード会員比率が IEEE 全体平均より低く SM の増強、Fellow 推薦の強化などが図られてきた。また、財政的には為替変動幅が大きく(80-120 円/\$)、いろいろな対策が講じられてきた。

Japan Council 運営支援(共通の幹事会社によるサポート)、国際交流(ソウル支部とは学生英語論文コンテストなど)、R10 や本部との連携強化なども継続的に行われている。

また、組織的な強化としては、2008 年に GOLD (2014 年から YP と改称、各種ワークショップなどの開催)、2010 年に LMAG (Newsletter の発行、講演会など)が Affinity Group として設立された。さらに 2006 年に日本カウンスルに History Committee (JC HC)が設立されたのに続き、2014 年に常設委員会として東京支部 History Committee が設立された。

常設委員会の活動としては、Fellow の推薦(約 10 名/年)、講演会(約 5 回/年)、情報提供(Tokyo Bulletin 約 7 号/年)、Student Branch の支援(6 校から 12 校へ)、マイルストーン認定(12 件/10 年)などが回数から見たアクティビティである。

2013 年から上記の Chapter の支部移行の最終解決が図られており、Japan Council から支部傘下へ受け入れを行っている。

2014 年より、産学連携を図る Industry Promotion 活動も行われている。

[Ⅱ] この10年の主要活動

1. 東京支部総会・理事会

総会

2005年：

2005年3月16日(水)14:00～15:30 弘済会館4階 萩の間

2006年：

2006年3月1日(水)11:00～12:30 パレスホテル地下1階 ゴールデンルーム

2007年：

2007年3月19日(月)14:00～15:30 アイビーホール青学会館4階 クリノン

2008年：

2008年3月17日(月)14:00～14:30 アイビーホール青学会館4階 クリノン

2009年：

2009年4月13日(月)14:00～14:30 弘済会館4階 蘭

2010年：

2010年3月10日(水)14:00～14:30 如水会館3階 松風の間

2011年：

2011年3月11日(金)14:30～15:00 ゆうぼうと7階 福寿
(総会の途中で東日本大震災が発生した)

2012年：

2012年3月13日(火)14:30～15:00 機械振興会館地下2階ホール

2013年：

2013年3月14日(木)14:30～15:00 機械振興会館6階6D-1 & 6D-2

2014年：

2014年3月14日(金)14:30～15:00 機械振興会館6階6D-1 & 6D-2

2015年：

2015年3月20日(金)14:30～15:00 機械振興会館6階6D-1 & 6D-2

理事会

2005年：

第1回 3月16日(水)12:30～14:00 弘済会館 出席者 16名

第2回 6月18日(水)15:00～17:00 住友会館 出席者 15名

第3回 10月12日(水)15:00～17:00 住友会館F 出席者 15名

第4回 12月7日(水)15:00～17:00 住友会館F 出席者 15名

2006年：

第1回 3月1日(水)9:00～10:30 パレスホテル 出席者 11名

第2回 6月9日(金)15:00～17:00 住友電工本社 出席者 13名

第3回 9月8日(金)15:00～17:00 住友電工本社 出席者 10名

第4回 12月15日(金)15:00～17:00 アイビーホール青学会館 出席者 19名

2007年：

第1回 3月19日(月)12:00～13:50 アイビーホール青学会館 出席者 10名

第2回 6月25日(月)15:00～17:30 東芝本社 出席者 12名

第3回 10月10日(水)15:00～17:50 東芝本社 出席者 9名

第4回 12月10日(月)15:00～17:30 東芝本社 出席者 12名

この10年の主要活動

2008年：

- 第1回 3月17日(月)12:00～13:50 アイビーホール青学会館 出席者 13名
- 第2回 6月23日(月)15:00～17:50 東芝本社 出席者 13名
- 第3回 10月6日(月)15:00～17:30 東芝本社 出席者 13名
- 第4回 12月8日(月)15:00～17:00 アイビーホール青学会館 出席者 24名

2009年：

- 第1回 4月13日(月)12:00～13:50 弘済会館 出席者 17名
- 第2回 6月23日(火)15:00～17:15 丸の内センタービル 出席者 12名
- 第3回 9月15日(火)15:00～16:45 丸の内センタービル 出席者 14名
- 第4回 11月27日(金)15:00～17:00 丸の内センタービル 出席者 16名

2010年：

- 第1回 3月10日(水)12:00～13:50 如水会館 出席者 17名
- 第2回 6月22日(火)15:00～17:00 丸の内センタービル 出席者 17名
- 第3回 9月9日(木)15:00～17:00 秋葉原ダイビル 出席者 18名
- 第4回 11月26日(金)15:00～17:00 アイビーホール青学会館 出席者 26名

2011年：

- 第1回 3月11日(金)12:00～13:50 ゆうぼうと 出席者 13名
- 第2回 6月16日(木)15:00～17:00 汐留シティセンター 出席者 16名
- 第3回 9月29日(木)15:00～17:00 汐留シティセンター 出席者 16名
- 第4回 11月24日(木)15:00～17:00 汐留シティセンター 出席者 15名

2012年：

- 第1回 3月13日(火)12:00～13:40 機械振興会館 出席者 15名
- 第2回 7月10日(火)15:00～17:00 汐留シティセンター 出席者 16名
- 第3回 10月19日(金)15:00～17:00 汐留シティセンター 出席者 15名
- 第4回 12月5日(木)15:00～17:00 機械振興会館 出席者 23名

2013年：

- 第1回 3月14日(木)12:00～13:45 機械振興会館 出席者 13名
- 第2回 6月6日(木)15:00～17:00 三菱電機本社 出席者 12名
- 第3回 9月12日(木)15:00～17:00 経団連会館 出席者 14名
- 第4回 12月5日(木)15:00～17:00 経団連会館 出席者 18名

2014年：

- 第1回 3月14日(金)12:00～13:45 機械振興会館 出席者 16名
- 第2回 6月6日(金)15:00～16:30 経団連会館 出席者 13名
- 第3回 9月12日(金)15:00～17:00 三菱電機本社 出席者 15名
- 第4回 12月5日(金)15:00～17:00 経団連会館 出席者 23名

2015年：

- 第1回 3月20日(金)12:00～13:45 機械振興会館 出席者 18名
- 第2回 6月16日(火)15:00～17:00 NEC本社ビル 出席者 15名
- 第3回 9月25日(金)15:00～17:00 NEC本社ビル 出席者 13名
- 第4回 12月4日(金)15:00～17:00 NEC本社ビル 出席者 16名

2. 広報活動 (Tokyo Bulletin)

2005年:

- 第25号 2月17日発行 2005/2006年 IEEE 東京支部・新支部長就任ご挨拶 ほか
第26号 4月8日発行 2005年 IEEE 東京支部総会開催 ほか
第27号 7月20日発行 2005年第2回 IEEE 東京支部理事会開催 ほか
第28号 10月20日発行 2005年第3回 IEEE 東京支部理事会開催 ほか
第29号 12月28日発行 2005年第4回 IEEE 東京支部理事会開催 ほか

2006年:

- 第30号 4月3日発行 2006年 Medal 受賞者発表 ほか
第31号 7月11日発行 2006年第2回 IEEE 東京支部理事会開催 ほか
第32号 8月22日発行 2007/2008年 IEEE 東京支部役員・理事候補者の公告 ほか
第33号 10月27日発行 2006年第3回 IEEE 東京支部理事会開催 ほか
第34号 12月13日発行 2006年第2回 Chapter Operations Committee Meeting 開催報告 ほか
第35号 12月27日発行 皆様へのご挨拶～役員任期を終えるにあたって～ ほか

2007年:

- 第36号 2月22日発行 2007/2008年 IEEE 東京支部・新支部長就任ご挨拶 ほか
第37号 4月12日発行 2007年 IEEE 東京支部総会開催 ほか
第38号 8月10日発行 2007年第2回 IEEE 東京支部理事会開催 ほか
第39号 10月12日発行 2007年第1回 Chapter Operations Committee Meeting 開催報告 ほか
第40号 12月25日発行 2007年第3回東京支部理事会開催報告 ほか
第41号 12月27日発行 2007年第2回 東京支部主催講演会開催報告 ほか

2008年:

- 第42号 2月25日発行 2008年 IEEE 東京支部総会 ほか
第43号 5月16日発行 2008年 IEEE 東京支部総会開催 ほか
第44号 8月8日発行 IEEE History Center 所長 Dr. Geselowitz 講演会 ほか
第45号 9月4日発行 2009/2010年 IEEE 東京支部役員・理事候補者の公告 ほか
第46号 12月26日発行 2008年第1回 Chapter Operations Committee 開催 ほか
第47号 12月26日発行 2008年第2回 Chapter Operations Committee 開催 ほか
第48号 12月31日発行 会員皆様へのご挨拶 — 役員任期を終えるにあたって — ほか

2009年:

- 第49号 1月22日発行 2009/2010年 IEEE 東京支部 新支部長就任のご挨拶 ほか
第50号 3月9日発行 2009年 IEEE 東京支部総会 ほか
第51号 5月26日発行 2009年第1回 Japan Council Long Range Strategy Committee ほか
第52号 7月24日発行 2009年第1回 Japan Council Chapter Operations Committee ほか
第53号 10月21日発行 2009年第3回 東京支部理事会開催 ほか
第54号 11月30日発行 IEEE 125周年 Anniversary Event 開催 ほか
第55号 12月28日発行 2009年第4回 東京支部主催講演会開催 ほか

2010年:

- 第56号 2月10日発行 2010年 IEEE 東京支部総会 ほか
第57号 4月7日発行 2010年第1回 東京支部理事会開催 ほか
第58号 7月15日発行 2010年第2回 東京支部主催講演会開催 ほか
第59号 8月31日発行 2011/2012年 IEEE 東京支部役員・理事候補者の公告 ほか
第60号 10月15日発行 2010年第3回 東京支部主催講演会開催 ほか
第61号 11月12日発行 2011/2012年 IEEE 東京支部役員・理事候補者追加指名公告結果 ほか
第62号 12月24日発行 2010年第4回 東京支部理事会開催 ほか
第63号 12月28日発行 会員皆様へのご挨拶 — 役員任期を終えるにあたって — ほか

2011年:

- 第64号 1月21日発行 2011/2012年 IEEE 東京支部 新支部長就任のご挨拶 ほか
第65号 2月10日発行 2011年 IEEE 東京支部総会 ほか

この10年の主要活動

- 第66号 4月26日発行 2011年第1回 東京支部理事会開催 ほか
第67号 8月9日発行 東京支部・東京支部 LMAG 共催講演会開催 ほか
第68号 11月2日発行 2011年第3回 東京支部理事会開催 ほか
第69号 12月28日発行 2011年第3回 東京支部主催講演会開催 ほか

2012年:

- 第70号 2月14日発行 ご案内:2012年 IEEE 東京支部総会
第71号 4月16日発行 IEEE Milestone 贈呈式 および受賞記念講演会開催 ほか
第72号 5月16日発行 IEEE Milestone 贈呈式 および受賞記念講演会開催 ほか
第73号 6月28日発行 MGA SD & EA Committee Meeting 会議開催 ほか
第74号 8月23日発行 2012年第2回 東京支部理事会開催 ほか
第75号 8月31日発行 2013/2014年 IEEE 東京支部役員・理事候補者の公告 ほか
第76号 11月22日発行 2013/2014年 IEEE 東京支部役員・理事候補者追加指名公告結果 ほか
第77号 12月27日発行 2012年第11回 IEEE 東京支部主催講演会開催 ほか
第78号 12月28日発行 会員皆様へのご挨拶 — 役員任期を終えるにあたって — ほか

2013年:

- 第79号 1月31日発行 2013/2014年 IEEE 東京支部 新支部長就任のご挨拶 ほか
第80号 5月8日発行 2012年第1回 東京支部理事会開催 ほか
第81号 10月1日発行 2013年第2回 東京支部理事会開催 ほか
第82号 10月10日発行 2013年第3回 東京支部理事会開催 ほか
第83号 3月7日発行 IEEE Milestone 贈呈式 および 受賞記念講演会開催 ほか

2014年:

- 第84号 3月7日発行 ご案内:2014年 IEEE 東京支部総会 ほか
第85号 4月23日発行 2014年第1回 東京支部理事会開催 ほか
第86号 7月15日発行 IEEE Milestone 贈呈式 および 受賞記念講演会開催 ほか
第87号 8月29日発行 2015/2016年 IEEE 東京支部役員・理事候補者の公告 ほか
第88号 9月19日発行 IEEE Milestone 贈呈式 および 受賞記念講演会開催 ほか
第89号 11月21日発行 2015/2016年 IEEE 東京支部役員・理事候補者追加指名公告結果 ほか
第90号 12月17日発行 IEEE Milestone 贈呈式 および 受賞記念講演会開催 ほか
第91号 12月24日発行 東京支部長の任期を終えるに当たって ほか

2015年:

- 第92号 1月23日発行 2015/2016年 IEEE 東京支部 新支部長就任のご挨拶 ほか
第93号 5月22日発行 2015年第1回 東京支部理事会開催 ほか
第94号 6月30日発行 IEEE Metro Area Workshop in Tokyo, 2015 開催 ほか
第95号 10月27日発行 東京支部 LMAG 主催 無線通信に関する見学会・講演会・懇親会 ほか
第96号 12月24日発行 東京支部 LMAG 主催講演会開催「光通信の半世紀とこれから」 ほか

2. 東京支部主催講演会

2005年：

- (1) 3月16日 弘済会館 4F 萩の間 参加者：67名
2005年 IEEE James H. Mulligan, Jr. Education Medal 受賞記念講演会
「単一モード光ファイバ通信と半導体レーザ学」
末松 安晴 氏(国立情報学研究所 所長)

2006年：

- (1) 2月22日 弘済会館 4F「萩の間」 参加者：72名
2005年 IEEE Jack S. Kilby Signal Processing Medal 受賞記念講演会
「音声分析・合成技術と音声符号化方式」
板倉 文忠氏 (名城大学 教授)
- (2) 10月11日 ホテルオークラ東京 2F クリフォート 参加者：94名
家庭用ビデオ VHS IEEE Milestone 認定記念講演会
今井 彰 氏 (NHK エグゼクティブプロデューサー)
大脇 禎弼 氏 (関西外国語大学短期大学部教授)

2007年：

- (1) 3月19日 青学会館 4Fクリノン 参加者：44名
2007年 IEEE Corporate Innovation Award 受賞記念講演会
「ハイブリッドカー・プリウス開発から得た学び」
朝倉 吉隆 氏(トヨタ自動車株式会社 HVシステム部 主査)
- (2) 11月22日 弘済会館 4F 「梅の間」 参加者：27名
2007年 IEEE Honorary Membership 認定記念
「プラズマテレビにかけた夢」
篠田 傳 氏(篠田プラズマ株式会社 代表取締役会長、広島大学大学院 教授)

2008年：

- (1) 3月17日 青学会館 4Fクリノン 参加者：44名
「脳とロボット」
川人 光男 氏(ATR 脳情報研究所 所長)
- (2) 5月19日 アルカディア市ヶ谷(私学会館) 参加者：47名
「Activities of the IEEE History Center and Milestones」
Dr. Michael Geselowitz (IEEE History Center 所長)
- (3) 7月24日 TKP 御茶ノ水ビジネスセンター 参加者：45名
Robotics -ロボティクスへの誘い-シリーズ第1回「ロボティクス研究の魅力」
小菅 一弘 氏(東北大)、大西 公平 氏(慶応大学)
- (4) 8月6日 アイビーホール青学会館 参加者：33名
Robotics -ロボティクスへの誘い-シリーズ第2回「ロボティクスとデザイン」
松井 龍哉 氏(フラワー・ロボティクス株式会社)
- (5) 10月1日 青山テピア 参加者：70名
Robotics -ロボティクスへの誘い-シリーズ第3回
「ポスト・コンピュータ時代におけるロボット産業の位置づけと未来への可能性」
原 丈人氏 DEFTA PARTNERS(デフタ・パートナーズ)グループ会長
- (6) 10月10日 アイビーホール青学会館 参加者：59名
「～Innovate Now or Pay Later～」
Gerard H. (Gus) Gaynor (President IEEE Technology Management Council)
- (7) 11月4日 ホテルオークラ東京 参加者：60名
日本語ワープロ IEEE Milestone 認定記念講演会
「History and meaning of the IEEE Milestone program: A view from the Smithsonian」
Dr. Bernard S. Finn (スミソニアン博物館名誉キュレーター)
「IEEE との付き合いかた(How you can be active in the IEEE)」
原島 文雄氏(Chair, IEEE Japan Council)

2009年：

- (1) 4月13日 弘済会館4階 蘭 参加者：43名
2009年 IEEE Frederik Philips Award 受賞記念講演会
「『中央研究所の時代の終焉？』その後何が来ているのか」
浅井 彰二郎 氏(株式会社リガク 取締役副社長)
- (2) 10月13日 東京工業大学 百年記念館 フェライト会議室 参加者：120名
フェライト開発・応用 IEEE Milestone 認定記念講演会
「大学の発明と IEEE マイルストーン」
伊賀 健一 氏(東京工業大学 学長)
「大学発ベンチャーについて」
柳 孝 氏(文部科学省 研究環境・産業連携課長)
「フェライトの学術的発見について」
山崎 陽太郎 氏(東京工業大学 教授)
「フェライトの産業化と発展について」
岡本 明 氏(TDK歴史館 顧問)
- (3) 10月23日 早稲田大学 西早稲田キャンパス 参加者：74名
テクニカルセミナー「Future of Information & Telecommunications Technologies」
Dr. Toshio Fukuda, Dr. John Vig (2009 IEEE President), Dr. Toshitaka Tsuda,
Dr. Iwao Sasase, Dr. Koichi Asatani (Distinguished Lecturer),
Dr. Hironori Kasahara, Dr. Takuro Sato
- (4) 11月19日 アルカディア市ヶ谷(私学会館) 7階 妙高 参加者：25名
「Television- The Life Story of a Technology」
Ph.D. Alexander B. Magoun (IEEE History Committee Milestone Coordinator)
- (5) 11月23日 日立日航ホテル 参加者：100名
太平洋横断TV衛星中継 IEEE Milestone 認定記念講演会
「茨城衛星通信センターと日本の国際衛星通信のあゆみ」
伊藤 泰彦 氏(工学博士、株式会社KDDI 研究所 代表取締役会長)
「衛星通信用アンテナの技術的発展」
千葉 勇 氏(工学博士、三菱電機株式会社 情報技術総合研究所 副所長)
「1963年11月23日太平洋横断テレビ中継から衛星放送の発展へ」
永井 研二 氏(日本放送協会 専務理事・技師長)
「The Rise of Satellite TV Transmission」
Ph.D. Alexander B. Magoun (IEEE History Committee Milestone Coordinator)

2010年：

- (1) 3月10日 如水会館3階松風の間 参加者：38名
2010年 IEEE Gustav Robert Kirchhoff Award 受賞記念講演会
「良い理論、良い手法、良い道具－革新的な製品・システムの創造(設計)を支える鼎」
渡部 和 氏(創価大学名誉教授)
- (2) 6月11日 東京国際フォーラムG棟5階 G502 参加者：92名
2010年 IEEE James L. Flanagan Speech and Audio Processing award 受賞記念講演会
「音声認識研究のパラダイムシフト」
古井 貞熙 氏(東京工業大学 教授)
- (3) 8月24日 東京国際フォーラムG棟4階 G410 参加者：32名
「Preserving, Explaining, and Making Known the History of Technology:
An Update on IEEE's Initiatives」
John VARDALAS (IEEE History Center Outreach Historian)
- (4) 10月8日 アルカディア市ヶ谷(私学会館)4階飛鳥 参加者：37名
「IEEE マイルストーンとテクニカルツアー・パナマ体験」
松本 栄寿 氏 (IEEE Japan Council History Committee, Secretary)
- (5) 12月16日 UDX Conference 6階 Room D 参加者：45名
2009年 IEEE David Sarnoff Award 受賞記念講演会

この10年の主要活動

「量子ドット研究の展開 ～提案から実用化、極限光素子への挑戦～」
荒川 泰彦 氏（東京大学教授）

2011年：

- (1) 3月11日 ゆうぼうと7階 福寿 参加者：39名
2010年 IEEE Daniel E. Noble Award for Emerging Technologies,
2011年 IEEE Medal for Environmental and Safety Technologies 受賞記念講演会
「初代プリウスの技術と開発風土、そして次世代自動車の展望」
佐々木 正一 氏（慶応大学 教授）
- (2) 5月31日 IVY HALL 3階 アロン 参加者：44名 (LMAG 共催)
「グローバルデータネットワークサービス：日本と欧州キャリアを参照して」
富田 修二 氏 (itSMF JAPAN)
ミニパネル(拡大Q&A) 司会：葉原 耕平 氏 (LMAG Chair)
パネリスト：富田 修二 氏、持田 侑宏 氏(フランステレコム株式会社)
- (3) 10月31日 東京国際フォーラム G棟 5階 G502 参加者：6名
2010年 IEEE Donald O. Pederson Award in Solid-State Circuits 受賞記念講演会
「アンビエント・エレクトロニクスと極低電力回路」
桜井 貴康 氏(東京大学 教授)
- (4) 11月18日 NHK 放送技術研究所講堂 参加者：138名
直接衛星放送サービス IEEE Milestone 認定記念講演会
「衛星放送の技術開発 ～黎明期から実用放送衛星の打ち上げまで～」
木村 悦郎 氏(元NHK 放送技術研究所所長)
「衛星放送から未来へ」
吉野 武彦 氏(元NHK 専務理事・技師長)
- (5) 12月2日 東京国際フォーラム G棟 5階 G510 参加者：89名 (LMAG 共催)
「東日本大震災から見たネットワーク」
萩本 和男 氏 (NTT 先端技術総合研究所長)

2012年：

- (1) 1月17日 東京国際フォーラム G棟 4階 G402 参加者：89名
2010年 IEEE William E. Newell Power Electronics Award 受賞記念講演会
「世界を動かすシリコンパワー半導体ーその発展の経緯と未来」
中川 明夫氏(中川コンサルティング事務所 技術コンサルタント)
- (2) 1月31日 株式会社日立ハイテクノロジーズ 那珂地区総合棟 参加者：200名
電解放出形電子顕微鏡 IEEE Milestone 認定記念講演会
「IEEE マイルストーンの概要」
大野 榮一 氏 (IEEE Japan Council History Committee Chair)
「Building a Brighter Beam」
Dr. David C. Joy (Distinguished Professor, University of Tennessee)
「FEG-TEMによる金属ナノ粒子の構造安定性に関する研究」
森 博太郎 氏 (大阪大学名誉教授)
「日立 FE-SEM (電界放出形走査電子顕微鏡)の歴史」
大林 秀仁 氏 (株式会社日立ハイテクノロジーズ 取締役会長)
- (3) 3月13日 機械振興会館 B2階 ホール 参加者：50名
2011年 IEEE Robotics and Automation Award 受賞記念講演会
「A Lifelong Challenge in Intelligent Robotics」
井上 博允氏(東京大学名誉教授 産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センター顧問)
- (4) 4月5日 帝国ホテル 4階 桜の間 参加者：124名
G3 FAX 国際標準化 IEEE Milestone 認定記念講演会
「IEEE マイルストーンの概要」
大野 榮一 氏(IEEE Japan Council History Committee Chair)
「国際標準化に向けた G3FAX の冗長度抑圧符号化技術」
山田 豊通 氏(元NTT 電気通信研究所 武蔵工業大学名誉教授)

この10年の主要活動

- 「G3FAXにおける国際標準化の役割と効果」
山崎 泰弘 氏(元 KDDI 研究所 東海大学元教授)
- (5) 4月6日 機械振興会館 B2階 ホール 参加者：87名
GOLD Affinity Group, JC WIE Affinity Group, Student Activities Committee 共催講演会
「Thoughts for Young Engineers」
Gordon Day 氏 (IEEE President)
プレゼンテーション
Tokyo GOLD Affinity Group の活動 (Tokyo GOLD Affinity Group Chair 大越康晴)
Japan Council WIE Affinity Group の活動 (JC WIE Affinity Group Vice Secretary 稲森真美子)
Tokyo Young Researchers Workshop の活動 (Tokyo Young Researchers Workshop Chair 善甫啓一)
Student Branch activities の活動 (Keio University Student Branch Past Chair 菊田洗)
(本講演会は初めてビデオで記録され、ホームページから配信された。)
- (6) 4月9日 中央大学理工学部後楽園キャンパス 3号館 10階大会議室 参加者：87名
2012年 IEEE Honorary Membership 認定記念講演会
「デュアル・モード - グローバル化時代のサバイバル・スキル」
内海 善雄 氏 (前国際電気通信連合事務総局長 JTEC 理事長 トヨタ IT 開発センター最高顧問)
- (7) 5月28日 機械振興会館 6階 6D-4 参加者：16名
「Report on the IEEE Technical Tour Japan」
大野 榮一 氏 (IEEE Japan Council History Committee Chair)
「IEEE Technical Tour and Historical Activities in Region 8」
Roland J. Saam 氏 (UK&RI LMAG Chair, Region 8 Newsletter Editor)
- (8) 9月19日 機械振興会館 B3階研修1 参加者：71名
2011年 IEEE Internet Award 受賞記念講演会
「Research on the Internet」
村井 純氏 (慶應大学 教授)
- (9) 9月28日 アルカディア市ヶ谷 5階大雪 参加者：50名
2006年 IEEE Award in International Communication 受賞記念講演会
「ICTの進化とグローバル化への対応」
平田康夫 氏 (国際電気通信基礎技術研究所 社長)
- (10) 10月23日 機械振興会館 B3階研修1 参加者：70名
2012年 IEEE Ernst Weber Managerial Leadership Award 受賞記念講演会
「半導体産業とベンチャーの役割：イノベーション創出の両翼を」
飯塚 哲哉氏 (ザインエレクトロニクス株式会社 代表取締役)
- (11) 11月26日 機械振興会館 B3階研修1 参加者：61名
2012年 IEEE Medal for Environmental and Safety Technologies 受賞記念講演会
「リチウムイオン電池の開発経緯と将来展望」
吉野 彰氏 (旭化成株式会社 フェロー 吉野研究室長)

2013年：

- (1) 3月14日 機械振興会館 6階 6D-1, 6D-2
2013年 IEEE Medal for Environmental and Safety Technologies 受賞記念講演会
「日本のカーナビ開発と技術的意義」
高橋 常夫 氏 (エヌエフ回路設計ブロック 代表取締役社長)
- (2) 4月26日 慶應義塾大学日吉来往舎 1階シンポジウムスペース
「Ethernet technologies に関する標準化と今後の動向」
Wael Diab 氏 (Vice Chair, IEEE 802.3 Ethernet Working Group)
- (3) 7月12日 金沢工業大学東京虎ノ門キャンパス 1301 講義室
「セルラー電話網の先駆的業績----奥村先生ドレイパー賞受賞記念」
伊藤 貞男 氏 (元 NTT 電気通信研究所)
座談会：「セルラー電話網研究の立ち上げと実用化」
奥村 善久 氏 (金沢工大名誉教授)、江口 真人 氏 (元 NTT 通研)、鎌田 光帯 氏 (元 NTT 通研)、
松坂 泰 氏 (元 NTT 通研)、吉川 憲昭 氏 (元 NTT 通研)、伊藤 貞男 氏 (司会)

この10年の主要活動

- (4) 10月18日 機械振興会館B2-1
2010年 IEEE James L. Flanagan Speech and Audio Processing Award 受賞記念講演会
「音声・マルチメディア処理を中心とする研究・教育の40年と、今考えていること」
古井 貞熙 氏 (東工大名誉教授、豊田工業大学シカゴ校学長)
- (5) 10月29日 ホテルオークラ
東芝ラップトップT1100 Milestone認定記念講演会
「IEEE Milestones の概要」
白川 功 氏 (IEEE Japan Council History Committee Chair)
「Japan and IEEE: Moving forward with Innovation while Honoring and Learning from the Past」
Dr. Peter Staecker (IEEE President and CEO)
「ラップトップPC T1100 ～IEEE Milestone受賞記念講演～」
西田 厚聰 氏 (株式会社 東芝 会長)
- (6) 11月29日 機械振興会館B2-1
2013年 IEEE Andrew S. Grove Award受賞記念講演会
「CMOSにおけるキャリア輸送特性の理解と高性能化の道筋」
高木 信一 氏 (東京大学大学院 工学系研究科 電気系工学専攻 教授)

2014年：

- (1) 3月14日 機械振興会館 6階 6D-1, 6D-2 参加者：35名 (LMAG 共催)
2013年 IEEE MGA Board Achievement Awards,
2013年 R10 Outstanding Volunteer Awards 受賞記念講演会
「IEEE Milestone 活動と日本の技術の世界への発信」
大野 榮一 氏 (三菱電機株社友)
- (2) 5月22日 パレスホテル2階橘 参加者：100名
NTT 音声符号化の基本技術 LSP Milestone 認定記念講演会(LMAG および IEEE SPS Japan Chapter 共催)
「IEEE マイルストーン概要」
白川 功 氏 (Japan Council History Committee Chair, 兵庫県立大学)
「線スペクトル対 LSP の普及状況」
守谷 健弘 氏 (NTT コミュニケーション科学基礎研究所フェロー)
「線スペクトル対 LSP の発案の経緯」
板倉 文忠 氏 (元 NTT 電気通信研究所、名古屋大名誉教授)
- (3) 7月10日 電気通信大学講義室 B棟 2F201 参加者：74名
JAXA 施設見学会および講演会 (LMAG 主催/東京支部共催)
「日本の宇宙開発と今後の展望」
立川 敬二 氏 (技術経営研究所代表、前 JAXA 理事長)
- (4) 8月18日 グランドプリンスホテル新高輪3F 天平の間 参加者：80名
明電舎 MOSA Milestone認定記念講演会 (LMAG共催)
「IEEEマイルストーン概要」
白川 功 氏 (Japan Council History Committee Chair, 兵庫県立大学)
「酸化亜鉛形ギャップレス避雷器 (MOSA) の誕生と普及活動」
小林 三佐夫 氏 (サージプロテクト KK パワーシステム代表)
「酸化亜鉛形避雷器の最新技術動向」
高田 雅之 氏 (明電舎ソレスター工場 主任)
- (5) 11月12日 ホテルグランドパレス東京 参加者：150名
太平洋海底ケーブルTPC-1 IEEE Milestone認定記念講演会 (LMAG共催)
「IEEE マイルストーン概要」
白川 功 氏 (Japan Council History Committee Chair, 兵庫県立大学)
「TPC-1 について」
江幡 篤士 氏 (アジア海材エンジニアリング株式会社代表取締役、元国際電信電話株式会社)
田巻 八郎 氏 (元大洋海底電線株式会社)
「TPC-1 から FASTER へ」
梧谷 重人 氏 (KDDI 株式会社 グローバル技術・運用本部長)

この10年の主要活動

- (6) 12月8日 機械振興会館 B3階研修1 参加者：80名 (LMAG および JC WIE 共催)
「出口指向のヒューマンインタフェース研究開発 ～非常識から常識へ～」
土井 美和子 氏 (独立行政法人 情報通信研究機構 監事, IEEE Fellow, 元東芝)

2015年：

- (1) 3月20日 機械振興会館 6階 6D-1, 6D-2 参加者：43名 (LMAG 共催)
「私の MGA (Member and Geographic Activities) 体験談」
中里 秀則 氏 (早稲田大学、IEEE Japan Council SAC Chair)
- (2) 5月21日 パレスホテル東京 2階橘 参加者：130名
VAD法の発明と開発 Milestone 認定記念講演会 (LMAG 共催)
「IEEE Milestone in Electrical Engineering and Computing の概要」
白川 功 氏 (IEEE Japan Council History Committee Chair)
「VAD法開発の経緯」
伊澤 達夫氏 (千歳科学技術大学 理事長)
「VAD法の実用化と普及」
田中 茂氏 (住友電気工業株式会社 代表取締役 専務取締役 研究統轄本部長)
- (3) 7月17日 電気通信大学東3号館 3階 306号室 参加者：67名 (LMAG 主催/東京支部共催)
「マクスウェル方程式を書いたのは誰？ — 併せて電磁気学への日本人の貢献について —」
小林岳彦氏 (東京電機大)
「携帯電話の歴史と5Gへの道のり」
尾上誠蔵氏 (NTT ドコモ)
- (4) 8月4日 機械振興会館 地下3階研修室1 参加者：34名 (LMAG 共催)
2015年 IEEE Innovation in Societal Infrastructure Award 受賞記念講演会
「自律分散概念から華嚴世界観へ」
井原廣一氏 (元日立製作所, 知的社会システム研究開発機構)
- (5) 9月26日 機械振興会館 地下2階 B2-1 参加者：64名 (LMAG 共催)
2015年 IEEE Cledo Brunetti Award 受賞記念講演会
「微細化限界が迫る電子デバイスの未来」
岩井 洋 氏 (東京工業大学 名誉教授)
- (6) 12月7日 機械振興会館 地下3階 研修室1 参加者：73名
国際光年記念講演会「光通信の半世紀とこれから」 (LMAG 主催/東京支部共催)
「光ファイバの40年とこれから」
山内良三氏 (フジクラ常任顧問)
「光通信用光デバイスのこれまで・これから」
小林功郎氏 (東工大名誉教授)
「光通信システムのこれまで・これから」
三木哲也氏 (電通大名誉教授)

4. その他のイベント

2005年：

- (1) 3月16日 弘済会館 4F「欄の間」
新Fellowを囲む懇親会
参加者：2005年新Fellow、支部理事、他 計 40名
- (2) 3月30日～31日 Singapore
2005年Region 10 Meeting
東京支部参加者：林 Secretary、橋本 Treasurer
- (3) 10月14～17日 Florida, USA
2005年Section Congress およびIEEE Region 10 Meeting
東京支部参加者：林 Secretary

2006年：

- (1) 3月1日 パレスホテルB1F ゴールデンルーム
東京支部50周年記念セレモニー、新Fellowを囲む懇親会・記念パーティー
参加者：Award受賞者、2006年新フェロー、協賛学会、IEEE役員・理事支部理事 他 計 108名
- (2) 3月26日～27日 Chiang Mai, Thailand
2006年Region10 Meeting
東京支部参加者：菅原理事
- (3) 10月11日 ホテルオークラ
家庭用ビデオVHS IEEE Milestone 贈呈式
参加者：竹内Region 10 Director 他 IEEE関係者、日本ビクター社関係者、来賓 計 27名

2007年：

- (1) 3月19日 青学会館2階 シャロン
新Fellowを囲む懇親会・記念パーティー
参加者：Award受賞者、2007年新フェロー、IEEE役員・理事 他 計 35名
- (2) 3月24日～25日 Malaysia
2007年Region10 Meeting
東京支部参加者：菅原 Secretary、橋本 Treasurer

2008年：

- (1) 2月2日～3日 Gandhinagar, Gujarat, India
2008年Region10 Meeting
東京支部参加者：花輪理事
- (2) 3月17日 青学会館4階 クリノン
新Fellowを囲む懇親会・記念パーティー
参加者：2008年新フェロー、IEEE役員・理事 他 計 35名
- (3) 9月18日～21日 Quebec City, Canada
Section Congress 2008
東京支部参加者：栄藤理事
- (4) 11月4日 ホテルオークラ東京
日本語ワードプロセッサ IEEE Milestone 贈呈式
参加者：IEEE、東芝関係者/招待者

2009年：

- (1) 2月28日～3月1日 Hanoi, Vietnam
2009年Region10 Meeting
東京支部参加者：花輪 Secretary、河野 Treasurer
- (2) 4月13日 弘済会館4階 菊西
新Fellowを囲む懇親会・記念パーティー
参加者：Award受賞者、2009年新フェロー、IEEE役員・理事 他 計 40名
- (3) 10月13日 東京工業大学 百年記念館フェライト会議室
フェライト開発・応用 IEEE Milestone 贈呈式

この10年の主要活動

参加者：IEEE、東京工業大学、TDK 関係者/招待者 他 計 100 名

(4) 10月23日 東京會館 LEVEL XXI

IEEE 本部 125 周年記念式典

参加者：IEEE 本部、Standards 関係者、丸善関係者/招待者 他 計 200 名

(5) 11月23日 茨城大学宇宙科学教育センター（旧茨城衛星通信センター）

太平洋横断 TV 衛星中継 IEEE Milestone 贈呈式

参加者：IEEE、KDDI、茨城大学関係者/招待者 他 計 100 名

2010年：

(1) 2月27日～28日 Cebu, Philippine

2010年 Region10 Meeting

東京支部参加者：河野 Treasurer

(2) 3月10日 如水会館3階 桜の間

新 Fellow を囲む懇親会・記念パーティー

参加者：Award 受賞者、2010年新フェロー、IEEE 役員・理事 他 計 32 名

2011年：

(1) 3月5日～6日 Yogyakarta, Indonesia

2011年 Region10 Meeting

東京支部参加者：雁部 Vice Chair、有本 Secretary、橋本理事ほか

(2) 3月11日 ゆうぼうと

新 Fellow 表彰式および新 Fellow を囲む懇親会・記念パーティー

参加者：Award 受賞者、2011年新フェロー、IEEE 役員・理事 他 計 40 名

(3) 8月19日～22日 San Francisco, USA

Sections Congress 2011 および Region 10 Meeting

東京支部参加者：青山 Chair

(4) 11月18日 NHK 放送技術研究所 講堂

直接衛星放送サービス IEEE Milestone 贈呈式

参加者：IEEE、NHK 関係者/招待者 他 計 64 名

2012年：

(1) 1月31日 水戸プラザホテル

電界放出形電子顕微鏡 IEEE Milestone 贈呈式

参加者：IEEE、日立ハイテク関係者/招待者 他 計 100 名

(2) 3月3日～4日 Kolkata, India

2012年 Region10 Meeting

東京支部参加者：青山 Chair、雁部 Vice Chair

(3) 3月13日 機械振興会館地下2階ホール、ニュートーキョー

新 Fellow 表彰式および新 Fellow を囲む懇親会・記念パーティー

参加者：Award 受賞者、2012年新フェロー、IEEE 役員・理事 他 計 46 名

(4) 4月5日 帝国ホテル

G3 FAX 国際標準化 IEEE Milestone 贈呈式

参加者：IEEE、NTT、KDDI 関係者/招待者 他 計 100 名

(5) 5月11日 機械振興会館

MGA Strategic Direction and Environmental Assessment (SD&EA) Committee Meeting

(6) 5月20日～28日 関西、東海、東京地区

IEEE Technical Tour of Japan 実施 (IEEE Life Members Committee が開催し、JC HC、LMAG 東京、IEEE 東京支部、関西支部、名古屋支部が協力)

企画・案内：大野 榮一 氏 (JC HC Chair)、松本 榮寿 氏 (JC HC Secretary)

海外参加者：米国、英国から 27 名

日程および集合写真を巻末に掲載

2013年：

(1) 3月2日～3日 Chiang Mai, Thailand

2013年 Region10 Meeting

この10年の主要活動

東京支部参加者：津田 Chair

- (2) 3月14日 機械振興会館 6階 6D-1, 6D-2 および5階倶楽部
新Fellow表彰式および新Fellowを囲む懇親会・記念パーティー
参加者：Award受賞者、2013年新フェロー、IEEE役員・理事 他
- (3) 7月11日～14日 Hyderabad, India
IEEE Region 10 Student/GOLD/WIE Congress 2013
東京支部派遣者：Student Branch 2名、GOLD 1名
- (4) 8月26日～29日 東北大学
R10-HTC (Humanitarian Technology Conference) 2014に共催
東京支部参加者：津田 Chair ほか
- (5) 10月29日 ホテルオークラ
ラップトップPC IEEE Milestone 贈呈式
参加者：IEEE、東芝関係者/招待者 他

2014年：

- (1) 3月1日～2日 Kuchinn, Malaysia
2014年 Region10 Meeting
東京支部参加者：津田 Chair
- (2) 3月14日 機械振興会館
新Fellow表彰式および新Fellowを囲む懇親会・記念パーティー
参加者：Award受賞者、2014年新フェロー、IEEE役員・理事 他
- (3) 5月22日 パレスホテル東京
高効率音声符号化LSP IEEE Milestone 贈呈式
参加者：IEEE、NTT関係者/招待者 他 100名
- (4) 8月18日 グランドプリンスホテル新高輪
電力用酸化亜鉛型ギャップレス避雷器MOSA IEEE Milestone 贈呈式
参加者：IEEE、明電舎関係者/招待者 他 80名
- (5) 8月22日～24日 Amstardam, Holland
IEEE Section Congress 2014
東京支部参加者：津田 Chair
- (6) 11月12日 九段下グランドパレス
太平洋海底ケーブルTPC-1 IEEE Milestone 贈呈式
参加者：IEEE、KDDI関係者/招待者 他 150名

2015年：

- (1) 3月6日～8日 Dhaka, Bangladesh
2015年 Region10 Meeting
東京支部参加者：萩本 Chair、原崎 Secretary
- (2) 3月20日 機械振興会館
新Fellow表彰式および新Fellowを囲む懇親会・記念パーティー
参加者：Award受賞者、2015年新フェロー、IEEE役員・理事 他
- (3) 4月23日
IEEE会長ほかボードメンバが訪問
- (4) 5月15日～16日 早稲田大学
Metro Area Workshop in Tokyo 2015 (東京支部主催, YP, JC WIE 共催,
JC 主催 Student Leadership training Workshop および IEEE 主催 Authorship Workshop と併催)
参加者：萩本 Chair ほか併催事業を含め 200名
プログラムを巻末に掲載
- (5) 5月21日 パレスホテル東京
VAD法の発明と開発 IEEE Milestone 贈呈式
参加者：IEEE、NTT、古川電工、住友電工、フジクラ関係者/招待者 他 130名

[Ⅲ] 各種データ

1. 東京支部の役員・理事

歴代役員(就任時の所属先)

在職期間	Chair	Vice Chair	Secretary	Treasurer	幹事会社
2005-2006	原島 文雄(東京電機大)	畑 良輔(住友電工)	林 秀樹(住友電工)	橋本 秀紀(東大)	住友電工
2007-2008	青木 利晴(NTTデータ)	田井 一郎(東芝)	菅原 勉(東芝)	橋本 秀紀(東京大学)	東芝
2009-2010	今井 秀樹(中央大学)	川上 潤三(日立)	花輪 誠(日立)	河野 隆二(横浜国立大学)	日立
2011-2012	青山 友紀(慶應義塾大学)	雁部 洋久(富士通研究所)	有本 由弘(富士通研究所)	河野 隆二(横浜国立大学)	富士通
2013-2014	津田 俊隆(早稲田大学)	久間 和生(三菱電機)	千葉 勇(三菱総研)	高村 誠之(NTT)	三菱電機
2015-2016	萩本 和男(NTTエレクトロニクス)	江村 克己(日本電気)	原崎 秀信(日本電気)	藤代 博記(東京理科大学)	日本電気

理事会メンバー(就任時の所属先)

2005-2006	原島 文雄(東京電機大学)	安田 靖彦(早稲田大学)	畑 良輔(住友電気工業)	柴田 直(東京大学)
	林 秀樹(住友電気工業)	笹瀬 巖(慶応大学)	橋本 秀紀(東京大学)	笠原 博徳(早稲田大学)
	佐藤 誠(東京工業大学)	菅原 勉(東芝)	秋葉 重幸(KDDI)	松島 裕一(情報通信研究機構)
	小田 哲治(東京大学)	瀬崎 薫(東京大学)	金子 正秀(電気通信大学)	竹内 精一(東京電機大学)
	三木 俊雄(NTTドコモ)	雁部 洋久(富士通研)	河野 隆二(横浜国立大学)	
2007-2008	青木 利晴(NTTデータ)	柴藤 稔(NTTドコモ)	田井 一郎(東芝)	井家上 哲史(明治大学)
	菅原 勉(東芝)	原島 文雄(東京電機大学)	橋本 秀紀(東京大学)	花輪 誠(日立製作所)
	山下 幸彦(東京工業大学)	林 秀樹(住友電機工業)	井筒 雅之(情報通信研究機構)	竹内 精一(東京電機大学)
	横山 明彦(東京大学)	南 隆敏(富士通研究所)	羽鳥 好律(東京工業大学)	
2009-2010	今井 秀樹(中央大学)	末松 憲治(三菱電機)	川上 潤三(日立)	山中 直明(慶應義塾大学)
	花輪 誠(日立)	田中 一弘(富士通研)	河野 隆二(横浜国立大学)	南 隆敏(富士通研)
	宮本 恭幸(東京工業大学)	西原 明法(東京工業大学)	井上 宏明(日本オプネク)	青木 利晴(NTTデータ)
	田中 秀郎(ビスカス)	菅原 勉(東芝)	黒澤 馨(茨城大学)	橋本 秀紀(東京大学)
2011-2012	青山 友紀(慶應義塾大学)	高村 誠之(NTT)	雁部 洋久(富士通研)	伊丹 誠(東京理科大学)
	有本 由弘(富士通研)	葉原 耕平(ATR)	河野 隆二(横浜国立大学)	大越 康晴(東京電機大学)
	須原 理彦(首都大学東京)	千葉 勇(三菱電機)	小山二三夫(東京工業大学)	今井 秀樹(中央大学)
	大崎 博之(東京大学)	花輪 誠(日立)	荒井 滋久(東京工業大学)	橋本 秀紀(東京大学)
2013-2014	津田 俊隆(早稲田大学)	河東 晴子(三菱電機) (2014)	久間 和生(三菱電機)	羽淵 裕真(茨城大学)
	千葉 勇(三菱電機)	奥田 治雄(湘南工科大学) (2014)	高村 誠之(NTT)	多田 邦雄(東京大学)
	藤代 博記(東京理科大学)	大野 光平(東京理科大学)	萩本 和男(NTT)	青山 友紀(慶應義塾大学)
	平澤 隆行(フジクラ) (2013)	小野 靖(東京大学) (2014)	有本 由弘(富士通研)	馬場 俊彦(横浜国立大学)
	河野 隆二(横浜国立大学)	庄木 裕樹(東芝)	原崎 秀信(日本電気)	
2015-2016	萩本 和男(NTT)	中込 直幸(日本電気)	江村 克己(日本電気)	眞田 幸俊(慶應義塾大学)
	原崎 秀信(日本電気)	奥田 治雄(湘南工科大学)	藤代 博記(東京理科大学)	稲田 浩一(フジクラ)
	前田 英作(NTT)	西宮康治朗(シュルンベルジェ)	松島 裕一(早稲田大学)	津田 俊隆(早稲田大学)
	福島 徹(古河電気工業) (2016.3まで)	中村 浩史(古河電気工業) (2016.4から)	千葉 勇(三菱総研)	植之原裕行(東京工業大学)
	高村 誠之(NTT)	佐波 孝彦(千葉工業大学)	杉江 利彦(NTT)	矢野 絵美(リコーITソリューションズ) (2016.1から)

常設委員会役員

在職期間	委員会名	Chair	Vice Chair	Secretary
2005-2006	Chapter Promotion	佐藤 誠(東京工業大学)	相澤 清晴(東京大学)	張 暁林(東京工業大学)
	Fellow Nominations	秋葉 重幸(KDDI)	井筒 雅之(情報通信研究機構)	宇佐見 正士(KDDI研究所) (2005) 枝川 登(KDDI研究所) (2006)
	Membership Development	小田 哲治(東京大学)	山之内 宏(ビスキヤス)	横山 明彦(東京大学)
	Nominations	金子 正秀(電気通信大学)	羽鳥 好律(東京工業大学)	長井 隆行(電気通信大学)
	Technical Program	三木 俊雄(NTTドコモ)	後川 彰久(NEC)	佐和橋 衛(NTTドコモ) (2005) 須田 博人(NTTドコモ) (2006)
	Publications	畑 良輔(住友電気工業)	林 秀樹(住友電気工業)	飯山 道朝(住友電気工業) (2005) 林 秀樹(住友電気工業) (2006)
	Student Activities	河野 隆二(横浜国立大学)	山中 直明(慶応大学)	落合 秀樹(横浜国立大学)

2007-2008	Chapter Promotion	山下 幸彦(東京工業大学)	田中 聡久(東京農工大学)	平野 拓一(東京工業大学)
	Fellow Nominations	井筒 雅之(情報通信研究機構)	井上 宏明(日本オプネクスト)	川西 哲也(情報通信研究機構)
	Membership Development	横山 明彦(東京大学)	田中 秀郎(ビスキヤス)	大崎 博之(東京大学)
	Nominations	羽鳥 好律(東京工業大学)	黒澤 馨(茨城大学)	久保田 彰(東京工業大学)
	Technical Program	柴藤 稔(NTTドコモ)	末松 憲治(三菱電機)	滝田 亘(NTTドコモ)
	Publications	田井 一郎(東芝)	菅原 勉(東芝)	庄木 裕樹(東芝)
	Student Activities	井家上 哲史(明治大学)	山中 直明(慶応大学)	森岡 一幸(明治大学)

2009-2010	Chapter Promotion	宮本 恭幸(東京工業大学)	須原 理彦(首都大学東京)	金澤 徹(東京工業大学)
	Fellow Nominations	井上 宏明(日本オプネクスト)	小山二三夫(東京工業大学)	佐川 みすず(日立)
	Membership Development	田中 秀郎(ビスキヤス)	大崎 博之(東京大学)	平澤 隆行(ビスキヤス)
	Nominations	黒澤 馨(茨城大学)	荒井 滋久(東京工業大学)	松本隆太郎(東京工業大学)
	Technical Program	末松 憲治(三菱電機)	高村 誠之(NTT)	檜枝 護重(三菱電機)
	Publications	川上 潤三(日立)	花輪 誠(日立)	福田 宏(日立)
	Student Activities	山中 直明(慶応大学)	伊丹 誠(東京理科大学)	大野 光平(東京理科大学)

2011-2012	Chapter Promotion	須原 理彦(首都大学東京)	藤代 博記(東京理科大学)	和田 圭二(首都大学東京)
	Fellow Nominations	小山二三夫(東京工業大学)	萩本 和男(NTT)	宮本 智之(東京工業大学)
	Membership Development	大崎 博之(東京大学)	平澤 隆行(ビスキヤス)	小野 靖(東京大学)
	Nominations	荒井 滋久(東京工業大学)	馬場 俊彦(横浜国立大学)	西山 伸彦(東京工業大学)
	Technical Program	高村 誠之(NTT)	庄木 裕樹(東芝)	坂東 幸浩(NTT)
	Publications	雁部 洋久(富士通研究所)	有本 由弘(富士通研究所)	山下 真司(富士通研究所)
	Student Activities	伊丹 誠(東京理科大学)	羽瀨 裕真(茨城大学)	大野 光平(東京理科大学)

歴代役員・理事

2013-2014	Chapter Promotion	藤代 博記(東京理科大学)	東脇 正高(NICT)	原 紳介(東京理科大学)
	Fellow Nominations	萩本 和男(NTT)	松島 裕一(早稲田大学)	碓塚 孝明(NTT)
	Membership Development	平澤 隆行(フジクラ) (2013) 小野 靖(東京大学) (2014)	小野 靖(東京大学) (2013) 石川 卓哉(古河電気工業) (2014)	石川 卓哉(古河電気工業) (2013) 千葉 勇(三菱総研) (2014)
	Nominations	馬場 俊彦(横浜国立大学)	植之原 裕行(東京工業大学)	荒川 太郎(横浜国立大学)
	Technical Program	庄木 裕樹(東芝)	CHEUNG, Gene (国立情報学研究所)	松岡 秀浩(東芝)
	Publications	久間 和生(三菱電機) (2013) 河東 晴子(三菱電機) (2014)	千葉 勇(三菱電機) (2013) 松田 哲史(三菱電機) (2014)	河東 晴子(三菱電機) (2013) 斧原 聖史(三菱電機) (2014)
	Student Activities	羽瀨 裕真(茨城大学)	眞田 幸俊(慶應義塾大学)	大越 康晴(東京電機大学)
	History	奥田 治雄(湘南工科大学)	-	立木 武彦(三菱電機)

2015-2016	Chapter Promotion	前田 英作(NTT)	川村 龍太郎(NTT)	木村 昭吾(NTT)
	Fellow Nominations	松島 裕一(早稲田大学)	浅田 雅洋(東京工業大学)	森田 逸郎(KDDI研究所)
	Membership Development	福島 徹(古河電気工業) (2016.3まで) 中村 浩史(古河電気工業) (2016.4から)	中村 浩史(古河電気工業) (2016.3まで)	井 通暁(東京大学)
	Nominations	植之原裕行(東京工業大学)	二見 史生(玉川大学)	水野 洋輔(東京工業大学)
	Technical Program	佐波 孝彦(千葉工業大学)	瀬戸 一郎(東芝)	萬代 雅希(上智大学)
	Publications	中込 直幸(日本電気)	小糸 達也(日本電気) (2016.3まで)	濱岡 牧子(日本電気)
	Student Activities	眞田 幸俊(慶應義塾大学)	植野 彰規(東京電機大学)	稲森 真美子(東海大学)
	History	奥田 治雄(湘南工科大学)	-	宮崎 孝(日本電気)

Affinity Group

Young Professionals (YP) (2012年まではGOLD)

在職期間	Chair	Vice Chair	Secretary	Treasurer
2007-2008				
2009-2010				
2011-2012				
2013-2014				
2015-2016	西宮 康治朗	小澤 佑介(東京理科大学) 佐藤 正知(東京都市大学)	小池 祐樹(エリクソン・ジャパン) 佐藤 文博(東京理科大学)	中村 聡(東京理科大学) 村松 大陸(東京理科大学)

Life Members (LMAG)

在職期間	Chair	Vice Chair	Secretary
2010-2012	葉原 耕平	臼井 支朗	持田 侑宏
2013-2014	多田 邦雄	持田 侑宏	三木 哲也
2015-2016	稲田 浩一	三木 哲也	高野 忠

会員の状況

2. 会員の状況 東京支部会員数

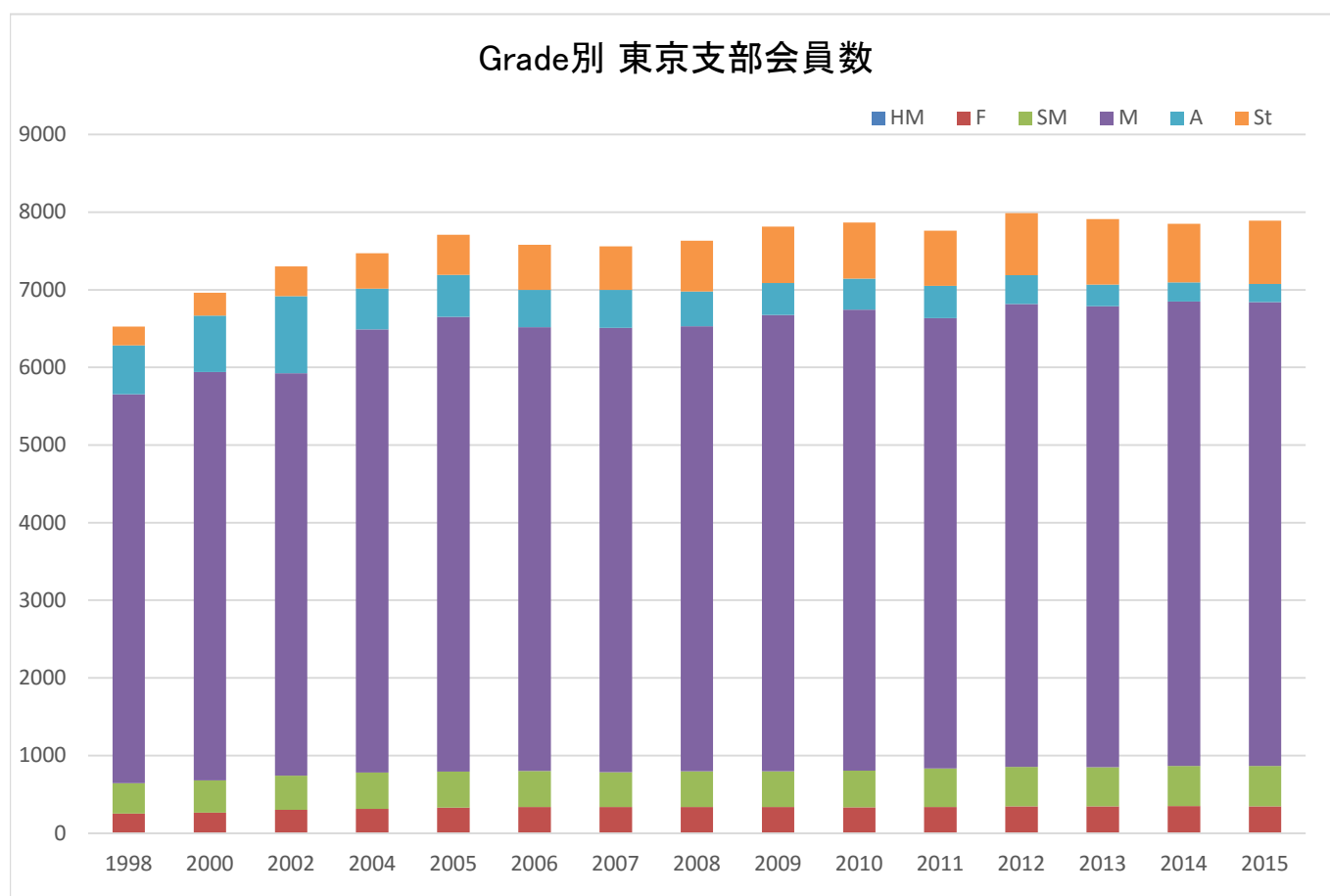
(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1998	6,527			1	250	395	5,009	630	242
2000	6,961			0	265	416	5,259	727	294
2002	7,299			0	303	437	5,183	994	382
2004	7,471			2	313	467	5,709	522	458
2005	7,708	237	3.17	2	326	467	5,856	541	516
2006	7,580	-128	-1.66	2	335	465	5,714	481	583
2007	7,560	-20	-0.26	2	334	451	5,722	491	560
2008	7,630	70	0.93	2	336	459	5,731	449	653
2009	7,814	184	2.41	2	336	459	5,880	408	729
2010	7,865	51	0.65	2	331	473	5,937	401	721
2011	7,763	-102	-1.30	2	335	497	5,800	416	713
2012	7,987	224	2.89	2	343	511	5,959	372	800
2013	7,911	-76	-0.95	2	342	507	5,937	280	843
2014	7,849	-62	-0.78	2	346	517	5,985	245	754
2015	7,892	43	0.55	2	343	521	5,975	234	817

略号： HM: Honorary Member
M: Member

F: Fellow
A: Associate

SM: Senior Member
St: Student



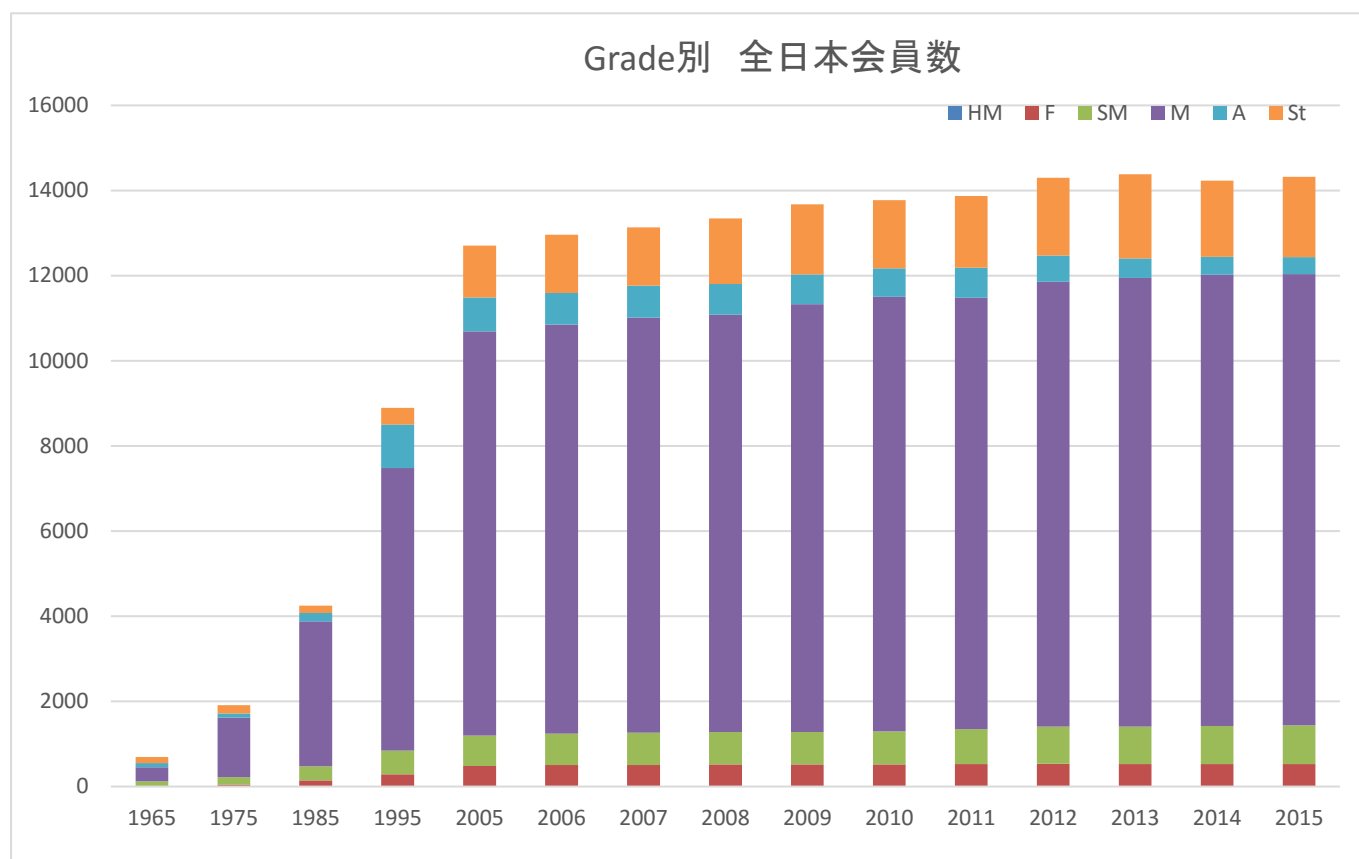
全日本会員数

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50								
1965	694			1	10	110	333	98	142
1975	1,915			0	46	173	1,400	99	197
1985	4,249			1	144	331	3,404	197	172
1995	8,892			1	288	552	6,643	1,021	387
2005	12,703			3	480	711	9,494	800	1,215
2006	12,960	257	2.02	4	500	742	9,606	742	1,366
2007	13,133	173	1.33	4	505	754	9,749	757	1,364
2008	13,346	213	1.62	4	513	761	9,804	723	1,541
2009	13,674	328	2.46	4	515	761	10,054	696	1,644
2010	13,770	96	0.70	4	517	775	10,205	675	1,594
2011	13,872	102	0.74	4	521	826	10,128	712	1,681
2012	14,298	426	3.07	4	528	875	10,449	617	1,825
2013	14,384	86	0.60	4	525	879	10,538	461	1,977
2014	14,231	-153	-1.06	4	524	898	10,598	420	1,787
2015	14,326	95	0.67	4	521	915	10,594	401	1,891

略号： HM: Honorary Member
M: Member

F: Fellow
A: Associate

SM: Senior Member
St: Student



3. Chapter一覽

最終更新日 2016年7月1日

Society Code	Society Chapter Name	創立年
SP-01	Signal Processing Society Tokyo Joint Chapter	1982年
	Signal Processing Society Sendai Chapter	2013年
	Signal Processing Society Kansai Chapter	2007年
BT-02	Tokyo/Japan Sections Broadcast Technology Society Joint Chapter	1983年
AP-03	Antennas and Propagation Society Tokyo Chapter	1971～1972年
	Antennas and Propagation Society Fukuoka Chapter	2005年
	Antennas and Propagation Society Kansai Chapter	2006年
	Antennas and Propagation Society Nagoya Chapter	2006年
CAS-04	Circuits and Systems Society Japan Joint Chapter	1971～1972年
	Circuits and Systems Society Fukuoka Chapter	2001年
	Circuits and Systems Society Kansai Chapter	2002年
	Circuits and Systems Society Shikoku Chapter	2006年
NPS-05	Nuclear and Plasma Sciences Society Japan Chapter	1981年
VT-06	Vehicular Technology Society Tokyo Chapter	1979年
R-07	Reliability Society Japan Joint Chapter	1983年
CE-08	Consumer Electronics Society East Japan Joint Chapter	1983年
	Consumer Electronics Society West Japan Joint Chapter	2008年
IM-09	Instrumentation and Measurement Tokyo/Japan Sections Joint Chapter	1973年
AES-10	Aerospace and Electronic Systems Society Japan Chapter	1991年
CIS-11	Computational Intelligence Society Japan Chapter	2004年
IT-12	Information Theory Society Japan Chapter	1981年
IE-13	Industrial Electronics Society Japan Joint Chapter	1981年
TM-14	Technology and Engineering Management Society Japan Chapter	1997年
ED-15	Electron Devices Society Japan Chapter	1971～1972年
	Electron Devices Society Kansai Chapter	2000年
C-16	Computer Society Japan Chapter	1967年
	Computer Society Fukuoka Chapter	2004年
	Computer Society Kansai Chapter	2006年
MTT-17	Microwave Theory and Techniques Society Japan Chapter	1958年
	Microwave Theory and Techniques Society Kansai Chapter	2006年
	Microwave Theory and Techniques Society Nagoya Chapter	2010年
EMB-18	Engineering in Medicine and Biology Society Japan Chapter	1970年
	West Japan Chapter of Engineering in Medicine and Biology	2007年
COM-19	Communications Society Japan Chapter	1973年
	Communications Society Kansai Chapter	2006年
	Communications Society Sendai Section Chapter	2012年

UFFC-20	Ultrasonics, Ferroelectrics, and Frequency Control All Japan Joint Chapter	1986年
CPMT-21	Components, Packaging, and Manufacturing Technology Society Japan Chapter	1994年
OE-22	Oceanic Engineering Society Japan Chapter	1996年
CS-23	Control Systems Society Japan Chapter	1981年
	Control Systems Society Kansai Chapter	2011年
RA-24	Robotics and Automation Society Japan Chapter	1990年
E-25	Education Society Japan Chapter	1981年
PC-26	Professional Communication Society Japan Chapter	2006年
EMC-27	Electromagnetic Compatibility Society Japan Joint Chapter	1980年
	Electromagnetic Compatibility Society Sendai Chapter	2001年
SMC-28	Systems, Man, and Cybernetics Society Japan Chapter	1974年
	Systems, Man, and Cybernetics Society Hiroshima Chapter	2005年
GRS-29	Geoscience and Remote Sensing Society All Japan Joint Chapter	1982年
SIT-30	Society on Social Implications of Technology Japan Chapter	1983年
PE-31	Power & Energy Society Japan Chapter	1964年
DEI-32	Dielectrics and Electrical Insulation Society Japan Chapter	1986年
MAG-33	Magnetics Society Tokyo Chapter	1977年
	Magnetics Society Sendai/Sapporo Joint Chapter	2005年
	Magnetics Society Nagoya Chapter	2008年
	Magnetic Society Shin-etsu Chapter	2015年
	Kansai/Shikoku Joint Sections Magnetics Society Chapter	2015年
IA-34	Industry Applications Society Japan Chapter	1973年
PEL-35	Power Electronics Society Japan Joint Chapter	1990年
	Power Electronics Society Fukuoka Chapter	2011年
PHO-36	Photonics Society Japan Chapter	1986年
	Photonics Society Kansai Chapter	2007年
	Photonics Society Fukuoka Chapter	2011年
SSC-37	Solid-State Circuits Society Japan Chapter	1998年
	Solid-State Circuits Society Kansai Chapter	2001年
ITS-38	Intelligent Transportation Systems Society Nagoya Chapter	2013年
	Intelligent Transportation Systems Society Tokyo Chapter	2014年
CEDA-44	Council on Electronic Design Automation All Japan Joint Chapter	2014年

4. Student Branches一覧

最終更新日 2016年7月27日

設立年月日	大学	Counselor
2015年8月4日	電気通信大学	松浦 基晴 情報理工学研究科
2013年1月17日	同志社大学	高橋 康人 理工学部電気工学科
2012年12月3日	東京農工大学	田中 聡久 大学院工学研究院 先端電気電子部門
2012年10月22日	中央大学	橋本 秀紀 理工学部
2010年10月22日	関西大学	大村 泰久 システム理工学部
2010年3月1日	早稲田大学	中里 秀則 大学院国際情報通信研究科
2009年9月16日	東京理科大学	片山 昇 理工学部 電気電子情報工学科
2008年6月12日	徳島大学	上田 哲史 高度情報化基盤センター
2008年1月24日	兵庫県立大学	上浦 尚武 工学部 電子情報電気工学科
2007年2月17日	明治大学	井家上 哲史 理工学部 電気電子生命学科
2005年11月18日	東京電機大学	植野 彰規 工学部 電気電子工学科
2005年1月7日	名古屋大学	片山 正昭 エコピア科学研究所 情報・通信科学研究部門
2004年12月27日	東京都市大学	田口 亮 工学部 生体医工学科
2003年6月17日	奈良先端科学技術大学院大学	飯田 元 情報科学研究科
2002年4月18日	香川大学	澤田 秀之 工学部 知能機械システム工学科
2001年12月7日	山口大学	久保 洋 工学部 電気電子工学科
2001年10月24日	京都大学	石原 享 大学院情報学研究科 通信情報システム専攻
2001年6月11日	立命館大学	福水 洋平 理工学部 電気電子工学科
2000年7月26日	東北大学	西山 大樹 大学院情報科学研究科 応用情報科学専攻
1998年8月27日	北海道大学	宮永 喜一 大学院情報科学研究科 メディアネットワーク専攻
1995年3月4日	横浜国立大学	河野 隆二 工学部 電子情報工学科
1994年11月19日	慶応義塾大学	河野 健二 理工学部 情報工学科
1994年6月20日	熊本大学	常田 明夫 大学院自然科学研究科 情報電気電子工学専攻
1994年6月20日	東京工業大学	伊藤 浩之 精密工学研究所
1976年8月24日	大阪大学	尾上 孝雄 大学院情報科学研究科 情報システム工学専攻
1976年8月23日	東京大学	相澤 清晴 情報理工学系研究科 電子情報学専攻 工学部 電子情報工学科
1968年3月25日	静岡大学	木谷 友哉 情報学部 情報科学科

5. 新Fellows

2006年新Fellows

	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	荒川 泰彦 Arakawa Yasuhiko	東京大学	for contributions to the understanding of quantum confinement effects in semiconductor lasers and the development of quantum dot lasers.
2	東京	古山 透 Furuyama Tohru	株式会社 東芝	for contributions to high speed dynamic random access memory (DRAM) design and technologies.
3	東京	原 辰次 Hara Shinji	東京大学	for contributions to robust, servo tracking, and sampled-data control theories.
4	東京	橋本秀紀 Hashimoto Hideki	東京大学	for contributions to mechatronics systems.
5	東京	林秀樹 Hayashi Hideki	住友電気工業(株)	for contributions to and leadership in compound semiconductor device technologies.
6	東京	平沢 一紘 Hirasawa Kazuhiro	東京農工大学	for contributions to antennas for mobile communications.
7	東京	小塚 洋司 Kotsuka Youji	東海大学	for contributions to ferrite application to RF/microwave devices.
8	東京	黒田 忠広 Kuroda Tadahiro	慶応義塾大学	for contributions to low-power and high-speed very large scale integrated (VLSI) design.
9	東京	桑原 秀夫 Kuwahara Hideo	富士通研究所	for contributions to high capacity optical fiber communication technologies.
10	東京	中川正雄 Nakagawa Masao	慶応義塾大学	for contributions to the advancement of code division multiple access (CDMA) and mobile communications.
11	東京	大賀寿郎 Ohga Juro	芝浦工業大学	for research, development and standardization activity for electroacoustical transducers of telephony.
12	東京	酒匂 裕 Sakou Hiroshi	(株)日立製作所中央研究所	for contributions to machine vision technology.
13	東京	鈴木 正敏 Suzuki Masatoshi	KDDI研究所	for contributions to high-speed optical communication systems.
14	東京	田原 修一 Tahara Shuichi	NEC 中央研究所	for contributions to superconducting digital integrated circuits and single-flux quantum electronics.
15	東京	谷口 智彦 Taniguchi Tomohiko	富士通研究所	for contributions to speech coding technologies and development of digital signal processing (DSP) based communication systems.
16	東京	徳満 恒雄 Tokumitsu Tsuneo	ユーディナデバイス株式会社	for contributions to uniplanar and 3-dimensional monolithic microwave integrated circuits (MMICs).
17	東京	鷲尾 勝由 Washio Katsuyoshi	日立製作所中央研究所	for contributions to high-speed silicon and silicon germanium bipolar/Bi complimentary metal oxide semiconductors (CMOS) device and circuit technologies.
18	東京	渡辺 貞 Watanabe Tadashi	文部科学省	for contributions to supercomputer architectures.

他支部

1	関西	荒木 光彦 Araki Mitsuhiro	京都大学	for contributions to the understanding of quantum confinement effects in semiconductor lasers and the development of quantum dot lasers.
2	福岡	原 雅則 Hara Masanori	九州大学	for contributions to robust, servo tracking, and sampled-data control theories.
3	仙台	小菅一弘 Kosuge Kazuhiro	東北大学	for contributions to multiple robots coordination and human-robot interface.
4	関西	池田克夫 Ikeda Katsuo	大阪工業大学	for contributions to and leadership in informatics education.
5	名古屋	稲垣 直樹 Inagaki Naoki	南山大学	for contributions to array antenna design.
6	広島	金子 真 Kaneko Makoto	広島大学	for contributions to design, sensing, and manipulation schemes for robotic hands.
7	関西	木戸出 正継 Kidode Masatsugu	奈良先端科学技術 大学	for contributions to high-speed local parallel image processors.
8	関西	小林哲郎 Kobayashi Tetsuro	大阪大学	for contributions to ultrafast optoelectronics and electrooptic devices.

2007年新Fellows

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	千葉 明 Chiba Akira	東京理科大学	<i>For contributions to bearingless AC motor drives</i>
2	東京	榎並 和雅 Enami Kazumasa	情報通信研究機構	<i>For contributions to content production technology in broadcasting</i>
3	東京	板屋 義夫 Itaya Yoshio	NTT先端技術総合研究所	<i>For contributions to high performance long-wavelength semiconductor lasers for optical communications</i>
4	東京	岩岡 秀人 Iwaoka Hideto	金沢工業大学	<i>For leadership in developing optical devices and optical microelectro mechanical systems for sensing and measuring instruments</i>
5	東京	河原 尊之 Kawahara Takayuki	(株)日立製作所中央研究所	<i>For contributions to low-voltage low-power random access memory circuits</i>
6	東京	緑川 克美 Midorikawa Katsumi	理化学研究所	<i>For contributions to generation of intense coherent soft x-ray radiation</i>
7	東京	小川 博世 Ogawa Hiroyo	情報通信研究機構	<i>For contributions to microwave and millimeter-wave technology</i>
8	東京	菅野 重樹 Sugano Shigeki	早稲田大学	<i>For contributions to design, control and system integration of human symbiotic robots</i>
9	東京	徳田 正満 Tokuda Masamitsu	武蔵工業大学	<i>For leadership in development and international standardization of electromagnetic compatibility for telecommunication systems</i>
10	東京	浦 環 Ura Tamaki	東京大学	<i>For contributions to autonomous underwater vehicle technologies</i>
11	東京	山田 浩 Yamada Hiroshi	(株)東芝	<i>For contributions to packaging technology of integrated circuits</i>
12	東京	山品 正勝 Yamashina Masakazu	NECエレクトロニクス(株)	<i>For leadership in high performance microprocessor circuits</i>

他支部

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	広島	三浦 道子 Miura-MattauschMitiko	広島大学	<i>For contributions to nanoscale metal oxide semiconductor field effect transistor compact modeling</i>
2	関西	小田中 紳二 Odanaka Shinji	大阪大学	<i>For contributions to numerical modeling and simulation of scaled common metal oxide semiconductor integrated circuit processes and devices</i>
3	関西	酒井 英昭 Sakai Hideaki	京都大学	<i>For contributions to statistical and adaptive signal processing</i>
4	関西	三瓶 政一 Sampei Seiichi	大阪大学	<i>For contributions to the development of fading compensation and adaptive modulation techniques for wireless communication systems</i>
5	関西	鹿野 清宏 Shikano Kiyohiro	奈良先端科学技術大学	<i>For contributions to speech recognition, dialog systems, voice conversion, and acoustic field realization</i>
6	関西	杉江 俊治 Sugie Toshiharu	京都大学	<i>For contributions to tracking control and its application to mechanical systems</i>

2008年新Fellows

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	穴見 健治 Kenji, Anami	半導体産業研究所 (現 ルネサステクノロジ)	<i>for invention of the divided word line structure for high-speed, low-power logic and memory</i>
2	東京	萩本 和男 Kazuo, Hagimoto	NTT未来ねっと研究所	<i>for contributions to very large capacity optical transmission systems</i>
3	東京	伊部 英史 Eishi, Ibe	日立製作所	<i>for contributions to neutron-induced soft-error analysis for semiconductor memory devices</i>
4	東京	井上 嵩梓 Takeshi, Inoue	日本電気株式会社	<i>for contributions to bulk wave piezoelectric devices and applications</i>
5	東京	粕川 秋彦 Akihiko, Kasukawa	古河電気工業	<i>for contributions to high power semiconductor lasers as pump sources for optical amplifiers</i>
6	東京	亀田 壽夫 Hisao, Kameda	筑波大学	<i>for contributions to performance optimization methods for information processing systems</i>
7	東京	小山 二三夫 Fumio, Koyama	東京工業大学	<i>for contributions to semiconductor optical devices for broadband optical communications</i>
8	東京	久保田 啓一 Keiichi, Kubota	日本放送協会	<i>for contributions to HDTV compression and transmission systems</i>
9	東京	上田 裕巳 Hiromi, Ueda	東京工科大学	<i>for contributions to synchronous digital hierarchy transmission systems and optical access systems</i>
10	東京	矢野 薫 Kaoru, Yano	日本電気株式会社	<i>for leadership in development of digital transmission systems</i>
11	東京	安田 豊 Yutaka, Yasuda	KDDI	<i>for contributions to mobile digital satellite communication systems</i>

他支部

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	関西	粟井 郁雄 Ikuo, Awai	龍谷大学	<i>For contributions to microwave passive components</i>
2	関西	浜田 弘喜 Hiroki, Hamada	三洋電機	<i>For contributions to red semiconductor laser diodes and polycrystalline silicon thin-film transistors</i>
3	関西	野田 進 Susumu, Noda	京都大学	<i>For contributions to photonic crystals and nanophotonics</i>
4	関西	上田 大助 Daisuke, Ueda	松下電器	<i>For contributions to power-saving semiconductor devices and circuits</i>
5	名古屋	清水 教之 Noriyuki, Shimizu	名城大学	<i>For contributions to the understanding of degradation mechanisms of polymeric insulating materials</i>
6	仙台	村岡 裕明 Hiroaki, Muraoka	東北大学	<i>For contributions to perpendicular magnetic recording and to recording heads and media</i>

2009年新Fellows

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	福岡 義孝 Yoshitaka Fukuoka	(有)ウエイステイー	<i>for development of multichip module and high density substrate technologies</i>
2	東京	古屋 一仁 Kazuhito Furuya	東京工業大学	<i>for contributions to optical fibers, semiconductor lasers and electron wave devices</i>
3	東京	笠原 順三 Junzo Kasahara	静岡大学	<i>for contributions to submarine seismic technology</i>
4	東京	佐藤 正之 Masayuki Sato	群馬大学	<i>for development of high voltage pulsed plasma in water</i>
5	東京	関原 謙介 Kensuke Sekihara	首都大学東京	<i>for contributions to electromagnetic brain imaging</i>
6	東京	種市 健 Takeshi Taneichi	東京電力(株)	<i>for leadership in developing and applying advanced power generation and transmission technology</i>
7	東京	宇佐美 光雄 Mitsuo Usami	日立製作所	<i>for contributions to radio-frequency identification technology</i>
8	東京	山本 俊昭 Toshiaki Yamamoto	東京都市大学	<i>for contributions to pollution and contamination control</i>
9	東京	横山 隆一 Ryuichi Yokoyama	早稲田大学	<i>for leadership in electrical power system management</i>

他支部

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	福岡	山川 烈 Yamakawa, Takeshi	九州工業大学	<i>for contributions in hardware implementation of fuzzy logic and other soft computing systems</i>
2	関西	門田 道雄 Kadota, Michio	村田製作所	<i>for contributions to surface acoustic wave devices</i>
3	関西	田村 進一 Tamura, Shinichi	大阪大学	<i>for contributions to pattern recognition and image analysis</i>
4	名古屋	川人 祥二 Kawahito, Shoji	静岡大学	<i>for contributions to sensor interfacing, sensor signal processing and multiple-level signaling</i>
5	名古屋	水谷 孝 Mizutani, Takashi	名古屋大学	<i>for contributions to device physics, nanostructures and heterostructure devices</i>
6	仙台	田所 諭 Tadokoro, Satoshi	東北大学	<i>for leadership in the development and deployment of rescue robotics</i>

2010年新Fellows

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	荒井 滋久 Arai, Shigehisa	東京工業大学	<i>for contributions to single-mode semiconductor lasers for optical communications</i>
2	東京	千葉 勇 Chiba, Isamu	三菱電機	<i>for leadership in high precision phased array antenna systems with digital signal processing</i>
3	東京	堀口 真志 Horiguchi, Masashi	ルネサステクノロジ	<i>for contributions to circuit technologies for high-density low-power memories</i>
4	東京	唐沢 好男 Karasawa, Yoshio	電気通信大学	<i>for contributions to the measurement and modeling of propagation effects in radio communication systems</i>
5	東京	國分 泰雄 Kokubun, Yasuo	横浜国立大学	<i>for contributions to integrated photonic devices</i>
6	東京	岡野 文男 Okano, Fumio	日本放送協会	<i>for contributions to high resolution three-dimensional television</i>
7	東京	竹中正 Takenaka, Tadashi	東京理科大学	<i>for research on properties and applications of lead-free piezoelectrics and ferroelectric ceramics</i>
8	東京	山崎 舜平 Yamazaki, Shunpei	半導体エネルギー研究所	<i>for contributions to, and leadership in the industrialization of non-volatile memory and thin film transistor technologies</i>
9	東京	吉國 裕三 Yoshikuni, Yuzo	北里大学	<i>for contributions to semiconductor lasers and integrated optical devices</i>

他支部

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	福岡	安元 清俊 Yasumoto, Kiyotoshi	九州大学	<i>for contributions to electromagnetic wave scattering and wave guiding</i>
2	広島	吉川 公麿 Kikkawa, Takamaro	広島大学	<i>for contributions o interconnect technologies for integrated circuits</i>
3	関西	有本 和民 Arimoto, Kazutami	ルネサステクノロジ	<i>for development of high-density dynamic random access memory and embedded memory</i>
4	関西	浜 広幸 Hama, Hiroyuki	三菱電機	<i>for contributions to compact and reliable high-voltage equipment</i>
5	関西	畑 豊 Hata, Yutaka	兵庫大学	<i>for contributions to fuzzy logic based image processing in biomedical informatics</i>
6	関西	大村 泰久 Ohmura, Yasuhisa	関西大学	<i>for contributions of silicon on insulator devices technology, analysis, and modeling</i>
7	関西	寺西 信一 Teranishi, Nobukazu	パナソニック	<i>for contribution to the development of charge-coupled device image sensors</i>
8	名古屋	松本 正 Matsumoto, Tadashi	北陸先端科学技術大学院大学	<i>for contributions to signal processing for wireless communications</i>
9	名古屋	山田 実 Yamada, Minoru	金沢大学	<i>for contribution to semiconductor laser theory and development of low-noise semiconductor lasers for disc applicaions</i>
10	仙台	櫛引 淳一 Kushibiki Jun-ichi	東北大学	<i>for contributions to ultrasonic metrology and acoustic microscopy</i>
11	仙台	佐藤 源之 Sato, Motoyuki	東北大学	<i>for contributions to radar remote sensing technologies in environmental and humanitarian applications</i>

2011年新Fellows

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	土井 美和子 Miwako Doi	東芝	<i>for contributions to the human interface of document processing</i>
2	東京	藤田 欣裕 Yoshihiro Fujita	愛媛大学	<i>for contributions to imaging systems for high resolution television</i>
3	東京	久本 大 Digh Hisamoto	日立製作所	<i>for contributions to complementary metal-oxide semiconductor devices</i>
4	東京	木村 紳一郎 Shin'ichiro Kimura	日立製作所	<i>for contributions to advanced stack memory cells for high density dynamic random access memories</i>
5	東京	中込 儀延 Yoshinobu Nakagome	ルネサスエレクトロニクス	<i>for pioneering development of low-voltage dynamic random access memory circuits and low-leakage complementary metal-oxide semiconductor circuits</i>
6	東京	中村 仁彦 Yoshihiko Nakamura	東京大学	<i>for contributions to robotics</i>
7	東京	大久保 榮 Sakae Okubo	早稲田大学	<i>for contributions to video coding and multimedia communication systems</i>
8	東京	島田 政信 Masanobu Shimada	宇宙航空研究開発機構	<i>for contributions to radar remote sensing technologies</i>
9	東京	杉山 昭彦 Akihiko Sugiyama	NEC	<i>for contributions to speech and audio signal processing</i>
10	東京	内山 邦男 Kunio Uchiyama	日立製作所	<i>for contributions to power-efficient microprocessors</i>
11	東京	山本 博資 Hirosuke Yamamoto	東京大学	<i>for contributions to source coding and information-theoretic secure coding</i>

他支部

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	福岡	黒川 不二雄 Fujio Kurokawa	長崎大学	<i>For contributions to switching power converter control</i>
2	関西	杉浦 博明 Hiroaki Sugiura	三菱電機	<i>For leadership in color management technology in multimedia systems</i>
3	仙台	内山 勝 Masaru Uchiyama	東北大学	<i>For contributions to design, modeling, and control of robotic structures</i>
4	仙台	奈良 宏一 Koichi Nara	福島工業高等専門学校	<i>For contributions to automation of power distributive systems</i>
5	札幌	小川 恭孝 Yasutaka Ogawa	北海道大学	<i>For contributions to estimation techniques and antenna signal processing</i>

2012年新Fellows

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	浅田 雅洋 Masahiro Asada	東京工業大学	<i>for contributions to semiconductor laser theory and terahertz devices</i>
2	東京	藤江 正克 Masakatsu George Fujie	早稲田大学	<i>for contributions to medical robotics</i>
3	東京	日高 邦彦 Kunihiko Hidaka	東京大学	<i>for contributions to measurement and electrical insulation technologies in high voltage engineering</i>
4	東京	広川 二郎 Jiro Hirokawa	東京工業大学	<i>for contributions to high-gain and high-efficiency millimeter-wave planar waveguide slot arrays</i>
5	東京	伊藤 隆司 Takashi Ito	東京工業大学	<i>for development of direct nitridation technology of MOS gate insulators</i>
6	東京	河野 隆二 Ryuji Kohno	横浜国立大学	<i>for contributions to spread spectrum and ultra wideband technologies and applications.</i>
7	東京	松島 裕一 Yuichi Matsushima	早稲田大学	<i>for contributions to semiconductor optical devices for transoceanic optical undersea cable systems</i>
8	東京	水本 哲弥 Tetsuya Mizumoto	東京工業大学	<i>for contributions to waveguide optical nonreciprocal devices for optical communications</i>
9	東京	最上 徹 Tohru Mogami	日本電気(株)	<i>for contribution to surface-channel pMOSFET and nanoscale transistor technology</i>
10	東京	小田 俊理 Shunri Oda	東京工業大学	<i>for contributions to silicon quantum dot devices</i>
11	東京	作井 康司 Koji Sakui	マイクロン・ジャパン(株)	<i>for the contribution to NAND flash memories</i>
12	東京	田井 一郎 Ichiro Tai	(株)東芝	<i>for leadership in development of nuclear instrumentation and control systems</i>
13	東京	山内 潤治 Junji Yamauchi	法政大学	<i>for contributions to electromagnetic waveguides and design of surface wave antennas</i>

他支部

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	福岡	温 晧青 Xiaoqing Wen	九州工業大学	<i>for contributions to testing of integrated circuits</i>
2	関西	西尾 章治郎 Shojiro Nishio	大阪大学	<i>for contributions to data and knowledge management in database systems</i>
3	関西	奥乃 博 Hiroshi Okuno	京都大学	<i>for contributions to robot audition technology</i>
4	仙台	澤谷 邦男 Kunio Sawaya	東北大学	<i>for contributions to computational electromagnetics and characterization of antennas in plasmas</i>

2013年新Fellows

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	新井 宏之 Hiroyuki Arai	横浜国立大学	<i>for contributions to the design and analysis of low profile antennas for mobile communications</i>
2	東京	Andrzej Cichocki アンジェイ・チホツキ	理化学研究所	<i>for contributions to applications of blind signal processing and artificial neural networks</i>
3	東京	榎木 孝知 Takatomo Enoki	NTT	<i>for contributions to compound semiconductor high speed integrated circuits for optical and wireless communication systems</i>
4	東京	廣瀬 明 Akira Hirose	東京大学	<i>for contributions to theory and radar applications of complex-valued neural networks</i>
5	東京	川西 哲也 Tetsuya Kawanishi	情報通信研究機構	<i>for contributions to high-speed and precise lightwave modulation technologies</i>
6	東京	菊池 和朗 Kazuro Kikuchi	東京大学	<i>for contributions to coherent optical communication systems</i>
7	東京	喜連川 優 Masaru Kitsuregawa	東京大学	<i>for contributions to high performance database technology</i>
8	東京	丹羽 正昭 Masaaki Niwa	東北大学	<i>for contributions to CMOS technology using high dielectric constant materials and metal gate</i>
9	東京	納富 雅也 Masaya Notomi	NTT物性科学基礎研究所	<i>for leadership in the development of photonic crystals and applications</i>
10	東京	大木 英司 Eiji Oki	電気通信大学	<i>for contributions to high-performance packet switching and path computation technologies</i>
11	東京	佐藤 拓朗 Takuro Sato	早稲田大学	<i>for contributions to W-CDMA cellular standardization</i>
12	東京	田村 泰孝 Hiroataka Tamura	富士通研究所	<i>for contributions to technology for high speed interconnects</i>
13	東京	土屋 治彦 Haruhiko Tsuchiya	山梨大学	<i>for contributions to single-mode optical fiber transmission</i>

他支部

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	仙台	加藤 寧 Nei Kato	東北大学	<i>for contributions to satellite systems and network intrusion detection</i>
2	名古屋	谷本 正幸 Masayuki Tanimoto	名古屋大学	<i>for contributions to the development of free-viewpoint television and its MPEG standard</i>

2014年新Fellows

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	井口 俊夫 Toshio Iguchi	情報通信研究機構	<i>for contributions to spaceborne meteorological instruments and radar</i>
2	東京	石丸 一成 Kazunari Ishimaru	東芝	<i>for contributions to static random access memory and complementary metal-oxide semiconductor devices</i>
3	東京	鈴木 扇太 Senichi Suzuki	NTT	<i>for contributions to high-density integrated silica-based planar lightwave circuits for optical communications</i>
4	東京	高橋 浩 Hiroshi Takahashi	上智大学	<i>for contributions to arrayed-waveguide gratings</i>
5	東京	田中 一男 Kazuo Tanaka	電気通信大学	<i>for contributions to fuzzy control system design and analysis</i>

他支部

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	仙台	尾辻 泰一 Taiichi Otsuji	東北大学	<i>for contributions to plasmonic semiconductor integrated device technology for terahertz sensing</i>
2	仙台	高橋 研 Migaku Takahashi	東北大学	<i>for contributions to thin film technology for high-density recording media and heads</i>
3	信越	江 偉華 Weihua Jiang	長岡技術科学大学	<i>for contributions to repetitive pulsed power generation utilizing solid-state device technology</i>
4	名古屋	平等 拓範 Takunori Taira	自然科学研究機構	<i>for contributions to micro solid-state photonics</i>
5	名古屋	田岡 久雄 Hisao Taoka	福井大学	<i>for contributions to computing technology for power system analysis and control</i>
6	名古屋	徳田 恵一 Keiichi Tokuda	名古屋工業大学	<i>for contributions to hidden Markov model-based speech synthesis</i>
7	関西	石淵 久生 Hisao Ishibuchi	大阪府立大学	<i>for contributions to evolutionary multiobjective optimization and fuzzy rule-based classifier design</i>
8	関西	清水 徹 Toru Shimizu	ルネサス エレクトロニクス	<i>for development of integrated multi-core microprocessors with large memories</i>

2015年新Fellows

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	小田 哲治 Tetsuji Oda	東京大学	<i>for contributions to electrostatics and high-pressure plasmas for environmental protection</i>
2	東京	城石 芳博 Yoshihiro Shiroishi	日立製作所	<i>for leadership in the development of high density magnetic recording technologies and devices</i>
3	東京	雙田 晴久 Haruhisa Soda	ファイベスト	<i>for contributions to vertical-cavity surface-emitting and distributed-feedback lasers</i>
4	東京	東盛 裕一 Yuichi Tohmori	NTT エレクトロニクス	<i>for contributions to tunable semiconductor lasers for optical fiber communications</i>
5	東京	宇佐見 正士 Masashi Usami	KDDI	<i>for contributions to development of high reliability semiconductor optical devices for undersea cable systems</i>
6	東京	山田 功 Isao Yamada	東京工業大学	<i>for contributions to inverse problems and learning in signal processing</i>

他支部

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	名古屋	堀 俊和 Toshikazu Hori	福井大学	<i>for contributions to broadband antennas for cellular and satellite communications</i>
2	名古屋	岩崎 誠 Makoto Iwasaki	名古屋工業大学	<i>for contributions to fast and precise positioning in motion controller design</i>
3	関西	木本 恒暢 Tsunenobu Kimoto	京都大学	<i>for contributions to silicon carbide materials and devices</i>
4	関西	永妻 忠夫 Tadao Nagatsuma	大阪大学	<i>for contribution to millimeter and terahertzwave communications using photonics</i>
5	信越	大石 潔 Kiyoshi Ohishi	長岡技術科学大学	<i>for contributions to development of fast and robust motion control systems</i>

6. IEEE Medal/Award 受賞者

2006年

No.	Award	氏名/所属	Citation
1	IEEE Clelio Brunetti Award	難波 進 (長崎総合科学大学)	<i>For contributions to ion-beam and optical technologies for application to semiconductor devices.</i>
2	IEEE Award in International Communication	平田 康夫 (KDDI)	<i>For contributions to and leadership in the development of digital mobile satellite communication systems.</i>
3	IEEE Founders Medal	青木 利晴 (NTTデータ)	<i>For outstanding visionary leadership in global standardization and commercialization of broadband multi-media networks.</i>
4	IEEE Jun-ichi Nishizawa Medal	角南 英夫(広島大学) 小柳 光正(東北大学) 伊藤 清男(日立製作所)	<i>For pioneering contributions to dynamic random access memory (DRAM) cell structures and architecture.</i>
5	IEEE Robert N. Noyce Medal	吉田庄一郎	<i>For contributions to, and leadership in, the technology and business development of IC lithography”</i>

2007年

No.	Award	氏名/所属	Citation
1	IEEE Corporate Innovation Recognitions Recipient	Toyota Motor Corporation	<i>For the development and promotion of a hybrid combustion-electric power train for automobiles that significantly improves fuel economy and reduces emissions without sacrificing vehicle dynamic performance.</i>

2009年

No.	Award	氏名/所属	Citation
1	IEEE David Sarnoff Award	荒川 泰彦 (東京大学)	<i>For seminal contributions to improved dynamics of quantum well semiconductor lasers.</i>
2	IEEE Frederik Philips Award	浅井 彰二郎 (株式会社リガク)	<i>For leadership in research and development in electron device technologies and their applications.</i>
3	IEEE William E. Newell Power Electronics Award	深尾 正	<i>For contributions to the development of cycloconverters and bearingless drives.</i>

2010年

No.	Award	氏名/所属	Citation
1	IEEE James L. Flanagan Speech and Audio Processing Award	古井 貞熙 (東京工業大学)	<i>For contributions to and leadership in the field of speech and speaker recognition towards natural communication between humans and machines.</i>
2	IEEE Gustav Robert Kirchhoff Award	渡部 和 (創価大学)	<i>For pioneering contributions to filter design theory and computer-aided circuit design.</i>
3	IEEE William E. Newell Power Electronics Award	中川 明夫 (東芝)	<i>For development of non-latch-up IGBTs.</i>
4	IEEE Daniel E. Noble Award	阿部 真一(トヨタ自動車) 佐々木 正一(慶応義塾大) 八重樫 武久(Cordia Corporation, Ltd.)	<i>For pioneering contributions to the development and market penetration of hybrid electric vehicles (HEVs) through the establishment of innovative architectures and control technologies.</i>
5	IEEE Robotics and Automation Award	福田 敏男 (名古屋大学)	<i>For leadership and pioneering contributions to Intelligent Robotic Systems and Micro and Nano Robotic Systems.</i>
6	IEEE Frank Rosenblatt Award	菅野 道夫 (同志社大学)	<i>For contributions to development and applications to the theory of fuzzy sets.</i>
7	IEEE Donald O. Pederson Award in Solid-State Circuits	桜井 貴康 (東京大学)	<i>For pioneering contributions to the design and modeling of high-speed and low-power CMOS logic circuits.</i>
8	Ernst Weber Engineering Leadership Recognition	大林 秀仁 (日立ハイテクノロジーズ)	<i>For outstanding engineering and managerial leadership in the field of scanning electron microscopy, including the creation and development of critical dimension SEMs for VLSI manufacturing.</i>

2011年

No.	Award	氏名/所属	Citation
1	IEEE Edison Medal	赤崎 勇 (名城大学)	<i>For seminal and pioneering contributions to the development of nitride-based semiconductor materials and optoelectronic devices, including visible wave length LEDs</i>
2	IEEE Medal for Environmental and Safety Technologies	佐々木 正一 (慶応義塾大学)	<i>For pioneering contributions to the development and market penetration of hybrid electric vehicles (HEVs) through the invention of their power output apparatus and control method.</i>
3	IEEE Internet Award	村井 純 (慶応義塾大学)	<i>For his leadership in the development and deployment of the global Internet, especially across the Asia-Pacific region.</i>
4	IEEE Robotics and Automation Award	井上 博允 (東京大学)	<i>For original and continuous contributions to research in intelligent robotics, in particular to real-time vision and humanoid robotics.</i>

2012年

No.	Award	氏名/所属	Citation
1	IEEE Medal for Environmental and Safety Technologies	吉野 彰 (旭化成)	<i>For developing the lithium-ion battery, which enables significant fuel conservation and reduced emissions as power storage for electric vehicles and for smart grids</i>
2	IEEE Honorary Membership	内海 善雄 (財団法人海外通信・放送コンサルティング協力、トヨタIT開発センター)	<i>For leadership in policy and initiatives leading to the growth of information and communication technologies.</i>
3	IEEE Reynold B. Johnson Information Storage Systems Award	高橋 直也 (日立電子サービス)	<i>For leadership in the development of innovative storage systems for heterogeneous open and mainframe servers, business continuity solutions and virtualization of heterogeneous storage systems.</i>
4	IEEE David Sarnoff Award	大野 英男 (東北大学)	<i>For seminal contributions and leadership in bridging semiconductor electronics with magnetism and spintronics.</i>
5	IEEE Corporate Innovation Recognition	三洋電機	<i>For developing and commercializing high-performance heterojunction solar cell technology (HIT).</i>
6	IEEE Ernst Weber Engineering Leadership Recognition	飯塚 哲哉 (ザインエレクトロニクス)	<i>For pioneering de facto standard video chips for moving images and nurturing entrepreneurship in Japan.</i>

2013年

No.	Award	氏名/所属	Citation
1	IEEE Medal for Environmental and Safety Technologies	高橋 常夫 (エヌエフ回路設計ブロック)	<i>For pioneering the development of navigation technology in automobiles.</i>
2	IEEE Andrew S. Grove Award	高木 信一 (東京大学)	<i>For contributions to the understanding of transport properties in inversion layers of high-performance MOSFETs.</i>
3	IEEE Nikola Tesla Award	高橋 則雄 (岡山大学)	<i>For contributions to finite element modeling, analysis, and optimal design tools of electrical machines.</i>
4	IEEE Leon K. Kirchmayer Graduate Teaching Award	秋山 秀典 (熊本大学)	<i>For excellence in graduate teaching, curriculum development, inspirational research guidance, and development of widely used textbooks in pulsed power.</i>
5	IEEE MGA Board Achievement Awards	大野 榮一	<i>For promoting IEEE Milestones and for the success of the IEEE Technical Tour of Japan through collaboration with geographic units, industry and academia.</i>
6	R10 Outstanding Volunteer Award	大野 榮一	<i>(For promotion of IEEE Milestone and establishment of Japan Council History Committee, 2006)</i>

2014年

No.	Award	氏名/所属	Citation
1	IEEE ROBOTICS AND AUTOMATION AWARD	広瀬 茂男 (HiBot Corporation)	<i>For contributions to the design and construction of multiple nonconventional robotic systems such as snakelike, quadruped walking, wall climbing, and swarm robots</i>

2015年

No.	Award	氏名/所属	Citation
1	IEEE Medal for Innovations in Healthcare Technology	TAKUO AOYAGI (Nihon Kohden Corporation)	<i>For pioneering contributions to pulse oximetry that have had a profound impact on healthcare.</i>
2	IEEE Cledo Brunetti Award	岩井 洋 (東京工業大学)	<i>For contributions to the scaling of CMOS devices.</i>
3	IEEE Andrew S. Grove Award	江刺 正喜 (東北大学)	<i>For developments in micro-electro-mechanical systems (MEMS) used in transportation and industrial electronics.</i>
4	IEEE Gustav Robert Kirchhoff Award	YOSIRO OONO (九州大学)	<i>For fundamental contributions to the foundation of classical circuit theory.</i>
5	IEEE Innovation in Societal Infrastructure Award	石井 威望 (東京大学) HIROKAZU IHARA (International Institute of Intelligence and Information) 市川 淳信 (東京工業大学)	<i>For pioneering the concept of dependable autonomous decentralized systems and contributing to its practical application in early transport control systems.</i>
6	IEEE Haraden Pratt Award	原島 文雄 (首都大学東京)	<i>For outstanding leadership in globalization and diversity of IEEE communities.</i>

7. IEEE Milestone 認定一覧

最終更新日2016年7月1日

名称	贈呈式開催日	銘板設置場所	支部
指向性短波アンテナ Directive Short Wave Antenna, 1924	1995年6月17日	東北大学片平構内	仙台 受賞時東京支部
富士山レーダー Mount Fuji Radar System, 1964	2000年3月6日	気象庁気象科学館	東京
東海道新幹線 Tokaido Shinkansen (Bullet Train), 1964	2000年7月13日	JR東海リニア・鉄道館	名古屋 提案時東京支部
電子式水晶腕時計 Electronic Quartz Wristwatch, 1969	2004年11月25日	セイコー時計資料館	東京
電卓の先駆的開発 Pioneering Work on Electronic Calculators, 1964-1973	2005年12月1日	シャープ歴史ホール	関西
世界標準家庭用ビデオVHSの開発 Development of VHS, a World Standard for Home Video Recording, 1976	2006年10月11日	日本ビクター横須賀工場	東京
鉄道用自動改札システム Railroad Ticket Examining System, 1965 - 1971	2007年11月27日	阪急北千里駅 大阪大学他	関西
日本語ワードプロセッサ The First Word Processor for Japanese Language, 1971 - 1978	2008年11月4日	東芝R&Dセンター 東芝青梅事業所	東京
依佐美送信所 Yosami Radio Transmitting Station 1929	2009年5月19日	刈谷市 依佐美記念館	名古屋
フェライトの発明とその工業化 Development of Ferrite Materials and Their Applications, 1930-1945	2009年10月13日	東京工業大学 TDK歴史館	東京
電子式テレビジョンの開発 Development of Electronic Television, 1924 - 1941	2009年11月12日	静岡大学 電子工学研究所	名古屋
初の太平洋横断テレビジョン信号衛星中継受信 First Transpacific Reception of a Television (TV) Signal via Satellite, 1963	2009年11月23日	KDDI茨城衛星 通信センタ記念碑	東京
太陽電池の商業化および産業化 Commercialization and Industrialization of Photovoltaic Cells, 1959-1983	2010年4月9日	シャープ 歴史ホール	関西
黒部川第四発電所 Kurobe River No. 4 Hydropower Plant, 1956-63	2010年4月9日	黒四ダム 黒四発電所	関西
直接衛星放送サービス First Direct Broadcast Satellite Service, 1984	2011年11月18日	NHK放送技術研究所	東京
電界放出型電子顕微鏡 First Practical Field Emission Electron Microscope, 1972	2012年1月31日	日立ハイテック那珂 日立中央研究所	東京
G3ファクシミリ国際標準化 International Standardization of G3 Facsimile, 1980	2012年4月5日	NTT 横須賀 KDDI 上福岡	東京
東芝T1100、ラップトップPC開発のバイオニア的な貢献 Toshiba T1100, a pioneering contribution to the development of laptop PC, 1985	2013年10月29日	東芝青梅事業所	東京
日本の一次・二次電池産業の誕生と成長 Birth and Growth of Primary and Secondary Battery Industries in Japan, 1893	2014年4月12日	ユアサ(京都、東京) パナソニック(門真、大阪、洲本) 長岡市、東京理科大学	関西
高圧縮音声符号化のための線スペクトル対(LSP) Line Spectrum Pair (LSP) for high-compression speech coding, 1975	2014年5月22日	NTT 武蔵野R&Dセンター	東京
テレビ用14インチTFT液晶ディスプレイ Sharp 14-inch Thin-Film-Transistor Liquid-Crystal Display (TFT-LCD) for TV, 1988	2014年6月10日	シャープ シャープミュージアム	関西
電力用酸化亜鉛形ギャップレス避雷器(MOSA) Gapless Metal Oxide Surge Arrester (MOSA) for electric power systems, 1975	2014年8月18日	明電舎総合研究所	東京
直径20インチ光電子増倍管 20-inch Diameter Photomultiplier Tubes, 1979 - 1987	2014年11月5日	浜松ホトニクス (豊岡製作所)	名古屋
第1太平洋横断ケーブルシステム(TPC-1) The First Transpacific Cable System (TPC-1), 1964	2014年11月12日	KDDI本社 ハワイテレコム本社	東京
MUレーダー(中層超高層大気観測用大型レーダー) The MU (Middle and Upper atmosphere) radar, 1984	2015年5月13日	京都大学信楽MU観測所	関西
高品質光ファイバの量産製造技術「VAD法」 Vapor-phase Axial Deposition Method for Mass Production of High-quality Optical Fiber, 1977-1983	2015年5月21日	NTT 厚木R&Dセンタ	東京

IEEE Technical Tour of Japan

2012年5月20日～28日

(EEE Life Members Committee が開催、
JC HC、LMAG 東京、IEEE 東京支部、関西支部、名古屋支部の協力で実施)

- 企画： 大野 榮一 (JC HC Chair)、松本 榮寿 (JC HC Secretary)
- 日程：
- 5月20日 京都市に集合、レセプション
 - 21日 奈良県天理市 シャープ歴史ホール (電卓、太陽電池 Milestone)
東大寺大仏ほか奈良市内見学
 - 22日 京都市 蹴上水力発電所、琵琶湖疎水記念館
金閣寺、清水寺ほか京都市内見学
 - 23日 名古屋市 JR 東海 リニア・鉄道館 (東海道新幹線 Milestone)
 - 24日 愛知県刈谷市 依佐美送信所 (Milestone 見学)
名古屋市 トヨタ産業技術記念館
 - 25日 東京都 NHK 放送博物館 (直接衛星放送 Milestone)
セイコーミュージアム (水晶腕時計 Milestone)
浅草寺および東京湾クルーズ
 - 26日 川崎市 東芝科学館 (日本語ワープロ Milestone)
横浜市 東京電力電気の史料館
神横須賀市 日本ビクター高柳記念館、VHS ホール
(家庭用ビデオ、電子式テレビ Milestone)
 - 27日 江戸東京博物館、銀座・日本橋ショッピング
 - 28日 朝食後解散



IEEE Technical Tour of Japan 集合写真 (海外から 27 名が参加)

横須賀市 日本ビクターにて (2012年5月26日)

IEEE Metro Area Workshop in Tokyo, 2015

—ICT technology vision toward 2020—

2015年5月15日、16日 早稲田大学 西早稲田キャンパス

(IEEE東京支部主催, YP, JC WIE 共催,

JC 主催 Student Leadership training Workshop および IEEE 主催 Authorship Workshop と併催)

Day1: May 15

8:45~9:10 Registration

9:10~9:30 Welcome Address

Kazuo Hagimoto, Chair, IEEE Tokyo Section

Howard Michel, President, IEEE

Shuji Hashimoto, Senior Executive Vice President, Waseda University

9:30~11:30 Session 1 IoT

Organizer: Hirotaka Hara, Fujitsu Laboratories

Session Chair: Takashi Aoki, Fujitsu Laboratories

- Utilization of IoT (Internet of Things) and sustainable innovation

Shuichi Inada, Research Center for Advanced Science and Technology, The University of Tokyo

- oneM2M Standardization Activity and M2M/IoT Service

Norikazu Yamasaki, KDDI

- IoT/M2M technology trend and usecase for social infrastructure

Taizo Kinoshita, Hitachi

- Hyper connected cloud environment empowered by IoT technologies

Ichirou Iida, Fujitsu Laboratories

13:00~15:00 Session 2 Automotive

Organizer: Atsushi Murase, NTT

- Advanced Technology and Future Mobility Society

Tooru Futami, Nissan Motor

- Connected Car ~Open Services that started with Smartphone Connectivity~

Masatoshi Abo, DENSO

- Trends of M2M/IoT Solutions in Mobile Communication Systems and the Next Generation 5G System

Narumi Umeda, NTT DOCOMO

15:30~16:10 Special invited speech

Coordinator: Isamu Chiba, Mitsubishi Research Institute

- Science, Technology and Innovation Policy of Japan

Kazuo Kyuma, Exective Member of the Council for Science, Technology and Innovation, Cabinet Office, Government of Japan

16:10~17:30 Special session

Organizer: Hidenobu Harasaki, Secretary, IEEE Tokyo Section

- How can IEEE provide its value to young professionals in Japan?

Speaker from IEEE MGA /Speaker from IEEE Japan Council Industry Promotion Committee

18:00~20:30 Reception

Day2: May 16

Special Session for Students, IEEE Young Professionals, IEEE Women in Engineering

9:30~10:00 Welcome Address

Hidenori Nakazato, Chair, IEEE Japan Council Student Activities Committee

Takako Hashimoto, Chair, IEEE Women in Engineering

10:00~11:00 Young Professionals / Women in Engineering

Organizer: Kojiro Nishimiya, Schlumberger

- "Technological Singularity" Implementation Challenges and Expected Innovation based on Highend Computer development experience

Yaoko Nakagawa, Hitachi

- 「GOLD = Young Professionals = Priceless」

Kohei Ohno, School of Interdisciplinary Mathematical Science, Meiji University

11:00~11:30 Authorship Workshop Opening Address

Coordinator: Hidenori Nakazato, Waseda University

- Overview of Authorship Workshop and Introduction to IEEE Publications

George Plosker, Manager, IEEE Client Service

13:00~15:00 Session 3 4k/8k

Organizer: Atsushi Takahara, NTT

- A New Era of Television Led by 8K Super Hi-Vision

Toru Kuroda, NHK

- Concept of Immersive Telepresence "Kirari!"

Katsuhiko Kawazoe, NTT

- "Immersive experience", "Information accessibility", and "Sense of participation"

Keiichiro Shimada, SONY

15:30~17:30 Session 4 Standardization

Organizer: Hidenobu Harasaki, NEC

- Standardization, an alternative exit and carrier path

Takashi Egawa, NEC

- Let's aim for Global Experts

IEEE802 (WLAN, WPAN) Standardization Meetings offer Excellent Opportunities

Shuzo Kato, RIEC, Tohoku University

- OSS activities and standardization in networking technologies

Katsuhiko Shimano, NTT

[Organizing Committee]

Chair: K. Hagimoto, NTT Electronics

K. Emura, NEC/Y. Mochida, Freistaat Bayern Repräsentanz Japan/

H. Fujishiro, Tokyo University of Science/H. Harasaki, NEC/

I. Chiba, Mitsubishi Research Institute/K. Ishikawa, PicoTherm/

K. Nishimiya, Schlumberger/T. Tsuda, Waseda University/

H. Nakazato, Waseda University/I. Hyakutake, IEEE Japan Office

IEEE 東京支部事務局

<http://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

<住所>

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 - 5 - 8 機械振興会館 5 1 7 号室

<アクセス>

機械振興会館 <http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>